

ViewSonic®



**PJD5151/PJD5153/PJD5155/
PJD5250/PJD5253/PJD5255/
PJD5555w_Tiger
LED プロジェクター
ユーザーガイド**

型番：
VS15871/VS15872/VS15873/
VS15874/VS14115/VS15875/
VS15876

ViewSonic をお選びいただき、 ありがとうございます。

ビジュアルソリューションの世界的大手プロバイダーとして 25 年以上 ViewSonic は、技術の進化、革新、そして簡単にするために、世界の期待を上回ることに専心してきました。ViewSonic では、当社の製品が世界に肯定的な影響を与える可能性を秘めていると信じています。そして、お客様が選択した ViewSonic 製品がお客様に役立つことを確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic をお選びいただき、ありがとうございます。



規制情報

FCC 準拠に関する声明

本製品はFCC 規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

この装置はテストの結果、FCC 規制パート15によるクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置及び使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は(装置をオフ/オンにして調べることができます)、次の方針のいずれかまたはいくつかの組み合わせを試し、妨害を正すことをお勧めします：

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する
- ラジオ/テレビの販売店か経験ある技術者に相談する

警告: FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

カナダ産業省 (IC) 宣誓書

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

欧州諸国のCE適合性

 装置はEMC指令2004/108/ECおよび低電圧指令2006/95/ECに準拠しています。

以下の記述はEU加盟国にのみ適用します。

このマークは、電気電子機器廃棄指令2012/19/EU(WEEE)に準拠しています。

マークは、使用済みまたは廃棄バッテリーまたはアキュムレーターを含む装置を、分別しない都市廃棄物として処分することをせず、回収と再利用できる収集システムを使用する要求を示します。

この装置に含まれるバッテリー、アキュムレーターとボタン電池に化学記号Hg、CdまたはPbが表示されている場合、それはバッテリーに0.0005%以上の水銀または0.002%以上のカドミウムまたは0.004%以上の鉛といった重金属を含んでいることを意味します。



RoHS2 準拠の通知

本製品は、電気および電子機器 (RoHS2 指令) に含まれる危険物質の使用の制限に関して、欧州議会および欧州委員会の指令 2011/65/EU に準拠して設計され製造され、次に示すように欧州技術適合委員会 (TAC) が発行した最大濃度値を遵守していると見なされています。

物質	提示された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr ⁶⁺)	0.1%	< 0.1%
多臭素化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ボリ臭素化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%

上に示した製品の成分の一部は、次に示すように RoHS2 指令の付録 III で免除されています。

免除された成分の例を、次に挙げます。

- 以下を超えない、特殊目的用の例陰極蛍光灯と外部電極蛍光灯の水銀(CCFLとEEFL) (ランプごと):
 - 短距離(≤500 mm): 最大3.5 mg (ランプごと)。
 - 中距離(>500 mmと≤1,500 mm): 最大5 mg (ランプごと)。
 - 長距離(>1,500 mm): 最大13 mg (ランプごと)。
- 陰極線管のガラスの鉛。
- 重量で0.2%を超えない蛍光灯のガラスの鉛。
- 最大0.4%の鉛(重量)を含むアルミニウム合金化元素としての鉛。
- 最大4%の鉛(重量)を含む銅合金。
- 高い融点タイプのはんだの鉛(つまり、重量で85%以上の鉛を含む鉛ベースの合金)
- ピエゾエレクトロニクスデバイスなどのコンデンサ内、またはガラスまたはセラミックマトリクス複合体で、ガラスまたは誘電セラミック以外のセラミックに、鉛を含む電気および電子コンポーネント。

重要な安全な指示

1. 説明書を読んでください。
2. 説明書を保管してください。
3. 全ての警告に留意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本体を水の近くで使わないでください。
6. 柔らかい、乾いた布で清掃してください。
7. 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って本体をインストールしてください。
8. ラジエーター、熱交換機、ストーブまたは熱を発生する他の装置(アンプを含む)の近くには、設置しないでください。
9. 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全構造を破壊しないでください。極性付きプラグは、2本のブレードの一方が幅広くなっています。接地タイプのプラグは、2本のブレードと第3の接地用接点を備えています。広いブレードと第3の接点は、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに入らない場合、旧式のコンセント交換について電気技術者にご相談ください。
10. 電源コード、特にプラグは踏まれたり挟まれたりしないよう保護してください。本体から近くて便利な取り外し可能な場所を探します。コンセントが本体付近に位置するようにしてください。
11. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、プラケットまたはテーブルは、メーカー指定か、または本体と共に販売されている物を使用してください。カート使用の場合、転倒による怪我を防止するため、カートと本体の組合せを移動するときに注意してください。
13. 長期間本体を使用しない場合、プラグを抜いてください。
14. サービスは資格のある人員にお問い合わせください。本体がどんな形であれ損害を受けたとき、例えば電源コードまたはプラグが損傷した場合、本体に液体がこぼれたり、物が落ちたりした場合、本体が雨または湿気にさらされた場合、あるいは本体が正常に動かないか、落下した場合などのいずれでも、サービスを受けることが必要です。

著作権情報

著作権 ViewSonic Corporation, 2015. 版権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

DPMSおよびDDCはVESAの登録商標です。

PS/2、VGAおよびXGAは、International Business Machines Corporationの登録商標です。

免責事項：ViewSonic社は、記載事項に含まれる技術上または編集上の誤りや省略に関する責任は負いません。また、内容の実行や製品の使用から来る付随的、派生的な損害に関する責任は一切負いかねます。

継続的な製品改善のために、ViewSonic社は断りなく製品仕様を変更する権利を留保します。この文書の情報は無断で変更される場合があります。

ViewSonic社による事前の書面による承諾がない限り、いずれの目的でもこの文書をコピー、複製、転送することはできません。

製品登録

将来の製品ニーズを満たすため、そして、追加の製品情報が利用可能になった時にそれを受け取るため、ViewSonic 社ウェブサイト上でお住まいの地域のセクションを参照し、お使いの製品をオンラインで登録してください。

また、ViewSonic CD を使って、製品登録フォームを印刷することができます。記入後、ViewSonic オフィスに郵送するか、あるいは、ファックスしてください。登録フォームを探すには、「{:CD\Registration」ディレクトリを使用してください。お使いの製品を登録することにより、今後カスタマサービスのニーズに対して準備することができます。

このユーザーガイドの「あなたのための記録」セクションを印刷し、情報を記入してください。

ディスプレイのシリアル番号は、ディスプレイの背面にあります。追加情報は、このガイドの「カスタマサポート」セクションを参照してください。

控え用

製品名：	PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/ PJD5255/PJD5555w ViewSonic DLP Projector
型番：	VS15871/VS15872/VS15873/VS15874/VS14115/ VS15875/VS15876
文書番号：	PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/ PJD5255/PJD5555w_UG_JPN Rev. 1B 12-18-14
シリアル番号：	
購入日：	

製品寿命が切れたときの製品廃棄

この製品のランプは、人と環境に有害となる水銀を含んでいます。地元、県、および国の法律に基づき、注意して処分してください。

ViewSonicは環境を尊重し、グリーンの仕事、生活をお約束します。よりスマートな、よりグリーンのコンピューティングをサポートしてくださりありがとうございます。より詳細は、ViewSonicウェブサイトにアクセスしてご参照ください。

米国&カナダ: <http://www.viewsonic.com/company/green/recycle-program/>

ヨーロッパ: <http://www.viewsoniceurope.com/uk/support/recycling-information/>

台湾: <http://recycle.epa.gov.tw/recycle/index2.aspx>

目次

重要な安全上の注意	2
はじめに	4
プロジェクタの機能.....	4
パッケージ内容	5
プロジェクタ外観図	6
制御および機能	7
プロジェクタの配置	12
場所の選択.....	12
投影サイズ	13
接続	15
コンピュータまたはモニターの接続	16
ビデオソースデバイスの接続	17
ケーブル管理カバー（オプション付属品）の使用	19
操作	20
プロジェクタの起動.....	20
メニューの使用	21
パスワード機能の利用	22
入力信号の切替	24
投影画像の調整	25
拡大する、および、詳細を検索する	26
縦横比の選択	27
画像の最適化	28
プレゼンテーションタイマーの設定	31
画像を表示にする	32
制御キーの固定	33
高地環境での操作	33
CEC機能の使用	33
3D機能の使用	34
スタンバイモードでのプロジェクタの使用	34
サウンドの調整	34
プロジェクタのシャットダウン	36
メニュー操作	37
メンテナンス	47
プロジェクタのケア	47
ダストフィルターの使用（オプション付属品）	48
ランプに関する情報	49
トラブルシューティング	53

重要な安全上の注意

プロジェクタは、情報技術機器の安全性に対する最新の基準を満たすように設計され、テストされています。しかし、本製品の安全な使用を確保するために、本書に記載されている指示および製品に表示されている指示に従うことが重要です。

安全上の注意

1. プロジェクタを操作する前に、この取扱説明書をよくお読みください。今後の参考のため保存してください。
2. 動作中にプロジェクタのレンズを覗き込まないでください。強い光ビームにより、目を損傷する恐れがあります。
3. 資格のあるサービス担当者にサービスを依頼してください。
4. プロジェクタのランプが点灯している時は、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを外してください。
5. 一部の国では、電源電圧が安定していません。このプロジェクタは、AC 100 ~ 240 ボルトの間の電源電圧範囲で安全に作動するよう設計されていますが、停電または±10 ボルトのサーボが発生した場合、障害を起こす恐れがあります。電源電圧が変動したり途切れたりすることがある地域では、電源安定器、サーボプロテクタまたは無停電電源装置(UPS)を通してプロジェクタを接続することをお勧めします。
6. プロジェクタが動作中に物体で投影レンズをふさがないでください。これにより、物体が過熱したり、変形したり、あるいは、火災を引き起こす恐れがあります。ランプを一時的にオフに切り替えるには、プロジェクタまたはリモコンのブランクを押します。
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。交換のため、ランプアセンブリを取り外す前にプロジェクタを約 45 分間冷却してください。
8. 定格ランプ寿命より長く使用しないでください。定格寿命を超えたランプを過剰に動作させると、まれに破損する恐れがあります。
9. プロジェクタを電源から取り外していない状態で、ランプアセンブリまたは電子部品を決して交換しないでください。
10. 不安定なカートリッジ、またはテーブルにこの製品を置かないでください。製品が落下し、重大な損傷を受ける恐れがあります。
11. このプロジェクタを分解しないでください。充電部に接触すると死を引き起こす可能性がある危険な高電圧が内部に存在します。ユーザーが修理できる部分は、専用の取り外し可能なカバーが付いているランプのみです。いかなる状況においても、他のカバーを元に戻したり、取り外す必要はありません。適切に資格のあるサービス担当者にサービスを依頼してください。
12. 以下の環境に本プロジェクタを配置しないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉された空間。壁から 50cm 以上のすきまを設け、プロジェクタの周りに空気が自由に流れるようにします。
 - 窓を閉め切った車内など温度が過度に高くなる場所。
 - 過度の湿気、ほこりのある場所。また、タバコの煙は、プロジェクタの寿命を短縮し、画像を暗くし、光学部品を汚染する恐れがあります。
 - 火災報知器に近い場所。
 - 周囲温度が 40 °C/104 °F を超える場所。
 - 標高 3,000 m (10,000 フィート) を超える場所。

13. 通気孔をふさがないでください。通気孔がふさがれると、プロジェクタの内部が過熱し、火災の恐れがあります。
 - 毛布、寝具類、または他の柔らかい物の上に本プロジェクタを配置しないでください。
 - 布または他のアイテムで、本プロジェクタを覆わないでください。
 - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
14. 動作中は、常に平らな水平面にプロジェクタを配置してください。
 - 左右に 10 度を超える角度で傾斜している場合、または前後に 15 度を超える角度で傾斜している場合は、使用しないでください。完全に水平にならない状態でプロジェクタを使用すると、ランプの誤作動、または損傷の原因となります。
15. 縦向きにプロジェクタを立てないでください。そうすることで、プロジェクタが倒れ、怪我またはプロジェクタの損傷につながる恐れがあります。
16. プロジェクタの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。そうすることにより、プロジェクタが物理的に損傷するだけではなく、事故や怪我の原因になります。
17. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。液体がプロジェクタにこぼれると、故障につながる恐れがあります。プロジェクタが濡れた場合は、電源コンセントから取り外し、お近くのサービスセンターに連絡して、プロジェクタの修理を依頼してください。
18. 本製品は、天井取り付け用に、反転した画像を表示することができます。

 プロジェクタを取り付け用の認定された天井取り付けキットのみを使用し、確実に設置されていることを確認してください。
19. プロジェクタが動作しているときに、その通気孔から熱風と臭気を感じする場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥ではありません。
20. 運搬または設置のためのセキュリティバーを使用しないでください。これは、市販の盗難防止用ケーブルと一緒に使用する必要があります。

プロジェクタを天井に取り付けるための安全上の注意

プロジェクタを使って楽しい経験ができるよう、人や財産への損傷を避けるために、この安全上の注意に従っていただく必要があります。

天井にプロジェクタを取り付ける場合、適切なプロジェクタ天井取り付けキットを使用して、安全かつしっかりと設置されていることを確認してください。

不適切な天井取り付けキットを使用すると、間違ったゲージまたは長さのねじの使用を介する不適切な取り付けに起因して、プロジェクタが天井から落下するという安全上のリスクがあります。

プロジェクタを購入された場所で、プロジェクタの天井取り付けキットを購入することができます。また、別売のセキュリティケーブルを購入し、プロジェクタの盗難防止ロックスロットと天井取り付け金具のベースの両方にしっかりと取り付けることを推奨します。これは、取り付け金具への取り付けが緩んだ場合、プロジェクタを保持する二次的な役割を果たします。

はじめに

プロジェクタの機能

プロジェクタは、高い信頼性と使い易さを提供するために高性能光エンジン投影とユーチューバーなデザインを統合しています。

プロジェクタは、以下の機能を提供します。

- 投影する画像に輝度に応じて、ランプの電力消費量を調整するダイナミックモード
- 入力信号が所定の期間検出されない時、最大 30% ランプの電力消費量を低減する省電力機能。
- プレゼンテーション中の時間をより良く管理するためのプレゼンテーションタイマー
- 3D 表示をサポート
- Blu-ray 3D 表示をサポート (HDMI 入力搭載モデルの場合)
- お好みに合わせてカラーを調整するためのカラー管理機能
- 省電力モードをオンに切り替えた時、0.5W 未満の電力消費量
- いくつかの定義済カラーの表面への投影を可能にする画面カラー補正
- 信号検知処理を高速化するクイック自動検索
- 様々な投影目的に対する選択肢を提供するカラー モード
- 選択可能なりイック電源オフ機能
- 最高の画質を表示するためのオンキー自動調整
- 歪んだ画像を補正するためのデジタルキーストーン補正
- データ / ビデオ表示用に調整可能なカラー管理制御
- 10 億 7000 万色を表示する能力
- 多言語オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- 電源消費量を低減するためにノーマル モードとエコノミー モードの切替が可能
- コンポーネント HDTV 互換 (YPbPr)
- HDMI CEC (家電制御) 機能により、プロジェクタとプロジェクタの HDMI 入力に接続された CEC 互換 DVD プレーヤー デバイスとの間の電源オン / オフ操作を同期させることができます

〔〕 投影画像の見かけの明るさは、周囲の照明条件、選択された入力信号のコントラスト / 輝度の設定に応じて変化し、投影距離に直接比例します。

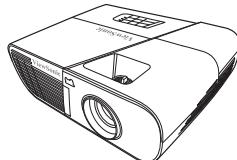
〔〕 ランプの明るさは、時間の経過とともに低下し、ランプの製造元の仕様の範囲内で変化する場合があります。これは正常で、予想される動作です。

パッケージ内容

丁寧に開梱し、以下のすべてのアイテムが揃っていることを確認します。これらのアイテムのいずれかが不足している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

標準付属品

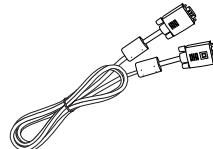
 付属品は、お住まいの地域に適しており、例示されたものと異なる場合があります。



プロジェクタ



電源コード



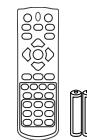
VGA ケーブル



多言語ユーザー マニュアル CD



クイックスタートガイド



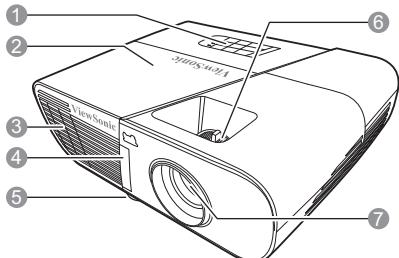
リモコンおよびバッテリー

オプションの付属品

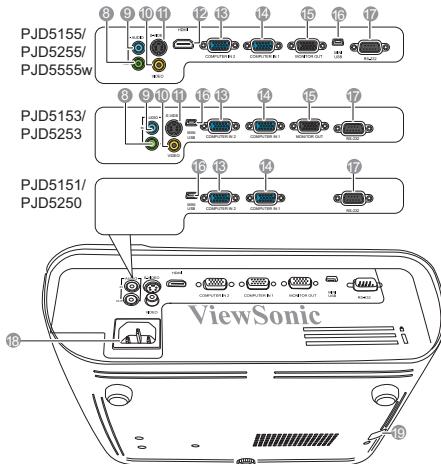
1. 交換用ランプ (PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/PJD5255 の場合 RLC-092、PJD5555w の場合 RLC-093)
2. ソフト キャリー ケース
3. VGA - コンポーネント アダプター
4. ダスト フィルター
5. ケーブル管理カバー

プロジェクタ外観図

前面 / 上側



背面 / 下側



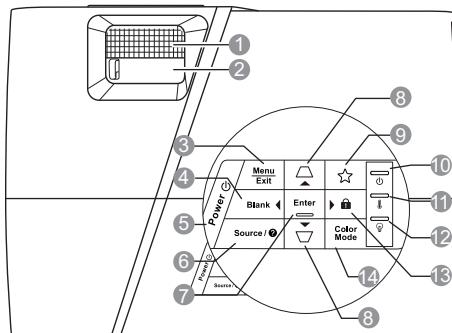
! 警告

- 本装置は、接地しなければなりません。
- 装置を設置する際、容易にアクセスできる切断装置を組み込む、または、装置の近くの簡単にアクセスできるコンセントに電源プラグを接続します。装置の動作中に障害が発生した場合、切断装置を操作して、電源をオフに切り替える、または、電源プラグを取り外します。

- 外部コントロールパネル
(詳細は、「プロジェクタ」(7ページ)を参照してください。)
- ランプカバー
- 通気孔(加熱された空気を排出)
- 前面IRリモコンセンサー
- アジャスター フット
- フォーカスおよびズームリング
- 投影レンズ
- オーディオ信号出力ソケット
- オーディオ信号入力ソケット
- ビデオ入力ソケット
- Sビデオ入力ソケット
- HDMIポート
- RGB(PC)/コンポーネントビデオ(YPbPr/YCbCr)信号入力ソケット2
- RGB(PC)/コンポーネントビデオ(YPbPr/YCbCr)信号入力ソケット1
- RGB信号出力ソケット
- ミニUSBポート
- RS-232制御ポート
- AC電源コードインレット
- 盗難防止ロックスロット用セキュリティバー

制御および機能

プロジェクタ



1. フォーカス リング

投影画像のフォーカスを調整します。

2. ズーム リング

投影画像の大きさを調整します。

3. メニュー

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューをオンに切り替えます。

終了

前の OSD メニューに戻り、終了し、メニュー設定を保存します。

4. ブランク /◀ 左

スクリーン画像を非表示にします。

5. ⬇ 電源

プロジェクタをスタンバイモードと電源オンの間で切り替えます。

6. Source (ソース)

ソース選択バーを表示します。

② (ヘルプ)

3秒間長押しすることで、ヘルプメニューを表示します。

7. エンター

選択オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー項目を決定します。

8. △ / □ (キーストーンキー)

投影角度により生じる画像の歪みを手動で補正します。

▲上 / ▼下 (方向キー)

9. ☆ (My Button (マイボタン))

このボタン上のショートカットキーを定義します。また、OSDメニューで機能項目を選択します。

10. ⬇ (電源インジケータライト)

プロジェクタが作動しているときに点灯または点滅します。

11. ⬇ (温度インジケータライト)

プロジェクタの温度が高温になりすぎた時、赤色に点灯します。

12. ⬇ (ランプインジケータライト)

ランプの状態を示します。ランプに問題が生じた時、点灯または点滅します。

13. 🔒 (Panel Key Lock (パネルキー ロック))

3秒間長押しすることで、パネルキー ロックを有効または無効にします。

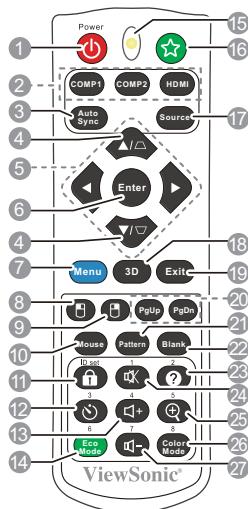
▶右

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューがアクティブになっている時、#4、#8、および、#13キーを所望のメニュー項目を選択したり、調整を行ったりするための方向矢印として使用します。

14. Color Mode (カラー モード)

利用可能な画像設定モードを選択します。

リモコン



☞ リモートマウスの制御キー（ページ上、ページ下、□、および、△）を使用する場合、詳細は「リモートマウス制御の使用」(10 ページ)を参照してください。

1. ⏻ 電源

プロジェクタをスタンバイモードと電源オンの間で切り替えます。

2. ソース選択キー

• COMP1/COMP2

表示用の D-Sub/コンポ 1 または D-Sub/コンポ 2 ソースを選択します。

• HDMI

表示用の HDMI ソースを選択します。

3. 自動同期

表示される画像に対して、最高の画像タイミングを自動的に決定します。

4. △ / □ (キーストーンキー)

投影角度により生じる画像の歪みを手動で補正します。

5. ◀左/▶右/▲上/▼下

所望のメニュー項目を選択し、調整を行います。

6. エンター

選択オプションディスプレイ(OSD)メニュー項目を決定します。

7. メニュー

オプションディスプレイ(OSD)メニューをオンに切り替えます。

8. □ (左マウスボタン)

マウスモードがアクティブになっている時、左マウスボタンと同じ機能を実行します。

☞ PC 入力信号が選択されている場合のみ利用可能です。

9. □ (右マウスボタン)

マウスモードがアクティブになっている時、右マウスボタンと同じ機能を実行します。

☞ PC 入力信号が選択されている場合のみ利用可能です。

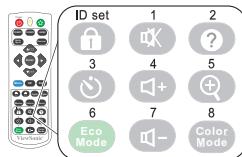
- 10. マウス**
ノーマルモードとマウスモードの間を切り替えます。
ページ上、ページ下、□、△: マウスを押し
た後、アクティブになります。スクリーン上にマウスマードのアクティブ化を示すアイコンが表示されます。
-  PC入力信号が選択されている場合のみ利用可能です。
- 11. ☒ (Panel Key Lock (パネルキー ロック))**
パネルキー ロックをアクティブにします。
- 12. ⌂ (Presentation Timer (プレゼンテーション タイマー))**
プレゼンテーション タイマー設定メニューを表示します。
- 13. ▲+ (音量上)**
音量レベルを上げます。
- 14. エコ モード**
ランプモードを選択します。
- 15. LED インジケータ**
- 16. ☆ (My Button (マイボタン))**
リモコン上のショートカットキーを定義します。また、OSDメニューで機能項目を選択します。
- 17. Source (ソース)**
ソース選択バーを表示します。
- 18. 3D**
3D設定メニューを表示します。
- 19. 終了**
前の OSD メニューに戻り、終了し、メニュー設定を保存します。
ページ上 / ページ下
-  PC入力信号が選択されている場合のみ利用可能です。
- 20. Pattern (パターン)**
組み込まれたテストパターンを表示します。
- 22. ブランク**
スクリーン画像を非表示にします。
- 23. ⓘ (ヘルプ)**
ヘルプメニューを表示します。
- 24. ✘ (Mute (消音))**
プロジェクトタのオーディオをオンとオフに間で切り替えます。
- 25. ④ (Zoom (ズーム))**
投影される画像サイズを拡大または縮小するズームバーを表示します。
- 26. Color Mode (カラー モード)**
利用可能な画像設定モードを選択します。
- 27. ▲- (音量下)**
音量レベルを下げます。

リモート制御コード

プロジェクトタに8つの異なるリモート制御コード(1~8)を割り当てることができます。数台のプロジェクトタが隣接して動作している時、リモート制御コードを切り替えることで、他のリモコンからの干渉を防ぐことができます。リモコンのリモート制御コードを変更する前に、プロジェクトタのリモート制御コードを設定してください。

プロジェクトタのコードを切り替えるには、**SYSTEM SETTING: ADVANCED (システム設定: 詳細)**>**Remote Control Code (リモート制御コード)**メニューで、1~8の間から選択します。

リモコンのコードを切り替えるには、ID セットとプロジェクタの OSD のリモート制御コードに対応する数字ボタンと一緒に 5 秒以上長押しします。初期コードは、1 に設定されています。コードを 8 に切り替えると、リモコンは、すべてのプロジェクタを制御できるようになります。



プロジェクタとリモコンに異なるコードを設定した場合、リモコンからの応答はありません。この現象が発生した場合は、リモコンのコードを再度切り替えてください。

リモートマウス制御の使用

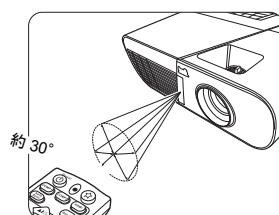
リモコンでお使いのコンピュータを操作できる機能は、プレゼンテーション実行時に、より多くの柔軟性を提供します。

1. リモコンを使用する前に、コンピュータのマウスの代わりに、USB ケーブルを使って、プロジェクタをデスクトップパソコンまたはノートパソコンに接続します。詳細は、「[コンピュータの接続](#)」(16 ページ) を参照してください。
2. 信号入力を D-Sub/ コンポ 1 または D-Sub/ コンポ 2 に設定します。
3. リモコンのマウスを押して、ノーマルモードからマウスマードに切り替えます。スクリーン上にマウスマードのアクティブ化を示すアイコンが表示されます。
4. リモコン上で所望のマウス制御を実行します。
 - ・スクリーン上でカーソルを移動するには、◀ / ▲ / ▼ / ▶ を押します。
 - ・左クリックを行うには、▣ を押します。
 - ・右クリックを行うには、▤ を押します。
 - ・(接続された PC 上の) ページ上 / ページ下コマンドに応答する表示ソフトウェアプログラム(Microsoft PowerPoint など)を操作するには、ページ上 / ページ下を押します。
 - ・ノーマルモードに戻るには、マウスを再度押すか、または、マウス関連のマルチ機能キーを除くキーを押します。

リモコンの有効範囲

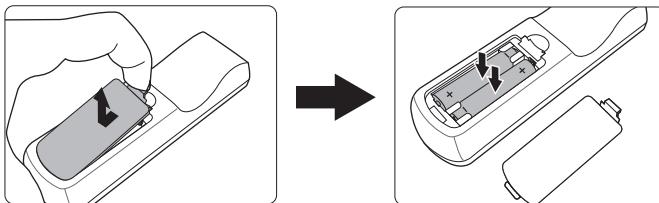
赤外線 (IR) リモコンは、プロジェクタの前面に位置しています。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの赤外線リモコンセンサーに対して 30 度以内に保持しなければなりません。リモコンとセンサーの間の距離が 8 メートル(26 フィート)を超えないようにしてください。

リモコンとプロジェクタの赤外線センサーの間に赤外線バーを遮ることがある障害物がないことを確認してください。



リモコンのバッテリーの交換

1. バッテリー カバーを開くために、図に示すように、リモコンの背面が見られるように回転し、カバーのフィンガー グリップを押し、矢印の方向にそれを引き上げます。
2. (必要に応じて) 既存のバッテリーを取り外し、バッテリー コンパートメントの底に示されているように、バッテリー極性に注意して、単四電池 2 本を取り付けます。プラス極(+)がプラス、マイナス極(-)がマイナスを向くようにします。
3. カバーとベースを合わせ、所定の位置に押すことで、カバーを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、スライドさせます。



警告

- ・ 台所、浴室、サウナ、サンルーム、閉め切った車の中などのような高温多湿の場所にリモコンとバッテリーを放置しないでください。
- ・ バッテリーメーカーが推奨する同じまたは同等のタイプのバッテリーに交換してください。
- ・ メーカーの指示およびお住まいの地域の環境規制に従って使用済みのバッテリーを廃棄してください。
- ・ 火中にバッテリーを投げ入れないでください。爆発の危険性があります。
- ・ バッテリーが消耗している場合、または、長期間リモコンを使用しない場合は、バッテリーの液漏れによるリモコンの損傷を避けるために、バッテリーを取り外してください。

プロジェクタの配置

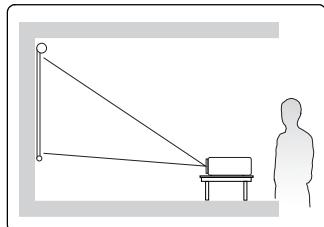
場所の選択

部屋のレイアウトまたはお好みに応じて、どこに設置するか決めます。スクリーンに大きさと位置、適切な電源コンセントの場所、および、プロジェクタとその他の装置との間の距離を考慮してください。

プロジェクタは、以下の4つの可能な設置位置のいずれかに設置するよう設計されています。

1. 前面机上

スクリーン前面の床面の近くにプロジェクタを配置する場合、この場所を選択します。これは、迅速な設定と可搬性のためにプロジェクタを配置する最も一般的な方法です。

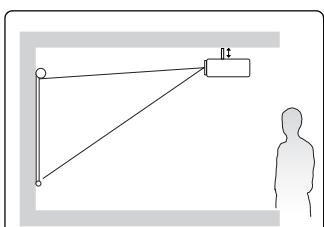


2. 前面天井

スクリーン前面の天井からプロジェクタを逆吊りにする場合、この場所を選択します。

プロジェクタを天井に取り付けるため、販売店からプロジェクタ用天井取付キットを購入してください。

プロジェクタをオンに切り替えた後、
前面天井にシステム設定：基本 > プロジェクタ位置メニューで設定します。

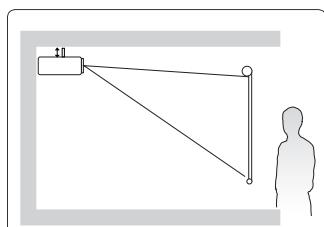


3. 背面天井

スクリーン背面の天井からプロジェクタを逆吊りにする場合、この場所を選択します。

この設置場所には、特殊な背面投影スクリーンとプロジェクタ用天井取付キットが必要であることに注意してください。

プロジェクタをオンに切り替えた後、
背面天井にシステム設定：基本 > プロジェクタ位置メニューで設定します。

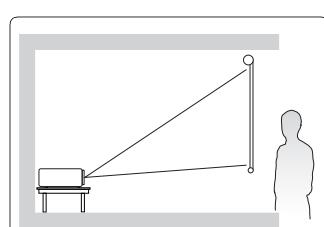


4. 背面机上

スクリーン背面の床面の近くにプロジェクタを配置する場合、この場所を選択します。

特殊な背面投影スクリーンが必要であることに注意してください。

プロジェクタをオンに切り替えた後、
背面机上にシステム設定：基本 > プロジェクタ位置メニューで設定します。

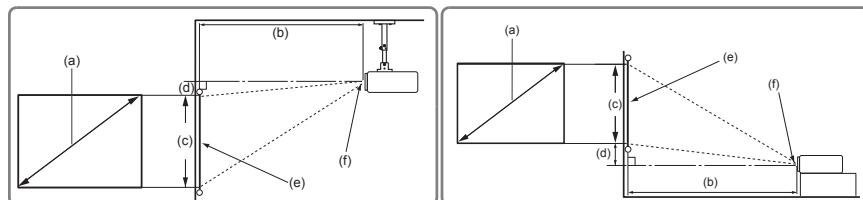


投影サイズ

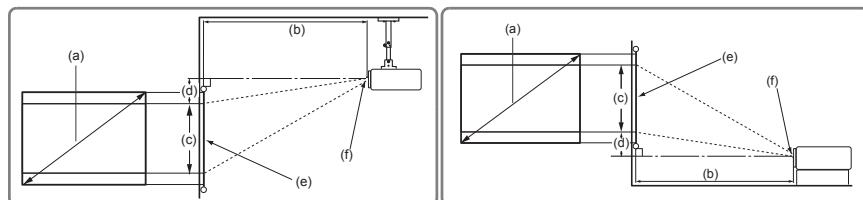
下記の「スクリーン」とは、通常、スクリーン面と支持構造体からなる投影スクリーンを指します。

PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/ PJD5255

- 4:3 スクリーン上の 4:3 画像



- 16:9 スクリーン上の 4:3 画像



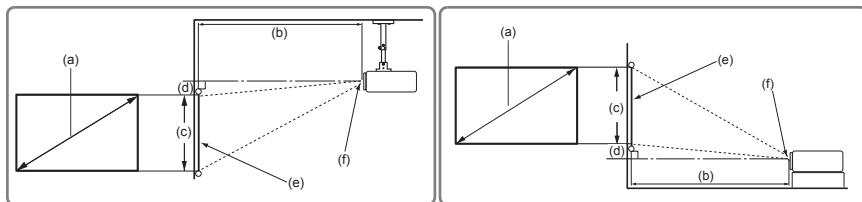
(e): スクリーン

(f): レンズの中心

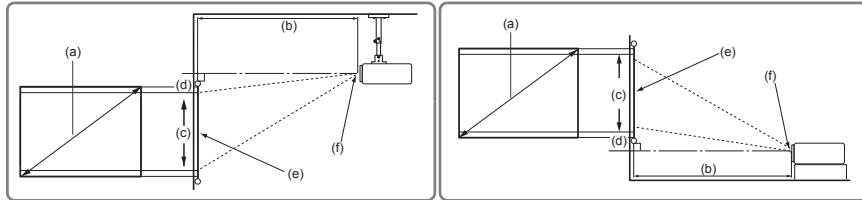
(a) スクリーンの サイズ [インチ (m)]	4:3 スクリーン上の 4:3 画像				16:9 スクリーン上の 4:3 画像			
	(b) 投影距離 [m (インチ)]		(c) 画像高さ [cm (インチ)]	(d) 垂直オフセット [cm (インチ)]	(b) 投影距離 [m (インチ)]		(c) 画像高さ [cm (インチ)]	(d) 垂直オフセット [cm (インチ)]
	最小	最大			最小	最大		
30 (0.8)	1.1 (45)	1.2 (49)	46 (18)	4.6 (1.8)	1.1 (45)	1.2 (49)	34 (14)	10.3 (4.1)
40 (1.0)	1.5 (59)	1.7 (65)	61 (24)	6.1 (2.4)	1.5 (59)	1.7 (65)	46 (18)	13.7 (5.4)
50 (1.3)	1.9 (74)	2.1 (82)	76 (30)	7.6 (3.0)	1.9 (74)	2.1 (82)	57 (23)	17.1 (6.8)
60 (1.5)	2.3 (89)	2.5 (98)	91 (36)	9.1 (3.6)	2.3 (89)	2.5 (98)	69 (27)	20.6 (8.1)
70 (1.8)	2.6 (104)	2.9 (114)	107 (42)	10.7 (4.2)	2.6 (104)	2.9 (114)	80 (32)	24.0 (9.5)
80 (2.0)	3.0 (119)	3.3 (131)	122 (48)	12.2 (4.8)	3.0 (119)	3.3 (131)	91 (36)	27.4 (10.8)
90 (2.3)	3.4 (134)	3.7 (147)	137 (54)	13.7 (5.4)	3.4 (134)	3.7 (147)	103 (41)	30.9 (12.2)
100 (2.5)	3.8 (149)	4.2 (163)	152 (60)	15.2 (6.0)	3.8 (149)	4.2 (163)	114 (45)	34.3 (13.5)
120 (3.0)	4.5 (178)	5.0 (196)	183 (72)	18.3 (7.2)	4.5 (178)	5.0 (196)	137 (54)	41.1 (16.2)
150 (3.8)	5.7 (223)	6.2 (245)	229 (90)	22.9 (9.0)	5.7 (223)	6.2 (245)	171 (68)	51.4 (20.3)
200 (5.1)	7.5 (297)	8.3 (327)	305 (120)	30.5 (12.0)	7.5 (297)	8.3 (327)	229 (90)	68.6 (27.0)
250 (6.4)	9.4 (371)	10.4 (409)	381 (150)	38.1 (15.0)	9.4 (371)	10.4 (409)	286 (113)	85.7 (33.8)
300 (7.6)	11.3 (446)	12.5 (490)	457 (180)	45.7 (18.0)	11.3 (446)	12.5 (490)	343 (135)	102.9 (40.5)

PJD5555w

- 16:10 スクリーン上の 16:10 画像



- 4:3 スクリーン上の 16:10 画像



(e): スクリーン (f): レンズの中心

(a) スクリーンの サイズ [インチ (m)]	16:10 スクリーン上の 16:10 画像				4:3 スクリーン上の 16:10 画像			
	(b) 投影距離 [m (インチ)]		(c) 画像高 さ [cm (イン チ)]	(d) 垂直オ フセット [cm (イン チ)]	(b) 投影距離 [m (インチ)]		(c) 画像高 さ [cm (イン チ)]	(d) 垂直オ フセット [cm (イン チ)]
	最小	最大			最小	最大		
30 (0.8)	1.0 (38)	1.1 (42)	40 (16)	0.0 (0.0)	0.9 (36)	1.0 (40)	38 (15)	0.0 (0.0)
40 (1.0)	1.3 (51)	1.4 (56)	54 (21)	0.0 (0.0)	1.2 (48)	1.3 (53)	51 (20)	0.0 (0.0)
50 (1.3)	1.6 (64)	1.8 (70)	67 (26)	0.0 (0.0)	1.5 (60)	1.7 (66)	64 (25)	0.0 (0.0)
60 (1.5)	1.9 (76)	2.1 (84)	81 (32)	0.0 (0.0)	1.8 (72)	2.0 (79)	76 (30)	0.0 (0.0)
70 (1.8)	2.3 (89)	2.5 (98)	94 (37)	0.0 (0.0)	2.1 (84)	2.3 (92)	89 (35)	0.0 (0.0)
80 (2.0)	2.6 (102)	2.8 (112)	108 (42)	0.0 (0.0)	2.4 (96)	2.7 (105)	102 (40)	0.0 (0.0)
90 (2.3)	2.9 (114)	3.2 (126)	121 (48)	0.0 (0.0)	2.7 (108)	3.0 (119)	114 (45)	0.0 (0.0)
100 (2.5)	3.2 (127)	3.5 (140)	135 (53)	0.0 (0.0)	3.0 (120)	3.3 (132)	127 (50)	0.0 (0.0)
120 (3.0)	3.9 (152)	4.3 (168)	162 (64)	0.0 (0.0)	3.7 (144)	4.0 (158)	152 (60)	0.0 (0.0)
150 (3.8)	4.8 (191)	5.3 (210)	202 (79)	0.0 (0.0)	4.6 (180)	5.0 (198)	191 (75)	0.0 (0.0)
200 (5.1)	6.5 (254)	7.1 (279)	269 (106)	0.0 (0.0)	6.1 (240)	6.7 (264)	254 (100)	0.0 (0.0)
250 (6.4)	8.1 (318)	8.9 (349)	337 (132)	0.0 (0.0)	7.6 (300)	8.4 (329)	318 (125)	0.0 (0.0)
300 (7.6)	9.7 (381)	10.6 (419)	404 (159)	0.0 (0.0)	9.1 (359)	10.0 (395)	381 (150)	0.0 (0.0)

光学部品の偏差により、これらの数字に 3% の公差が存在します。プロジェクタを恒久的に設置する場合、恒久的に設置する前に、プロジェクタの光学特性に対する余裕を設けるため。その場所で実際のプロジェクタを使って、投影サイズと距離を物理的にテストすることをお勧めします。これは、最良の取付位置に合致する正確な取付位置を判断するのに役立ちます。

接続

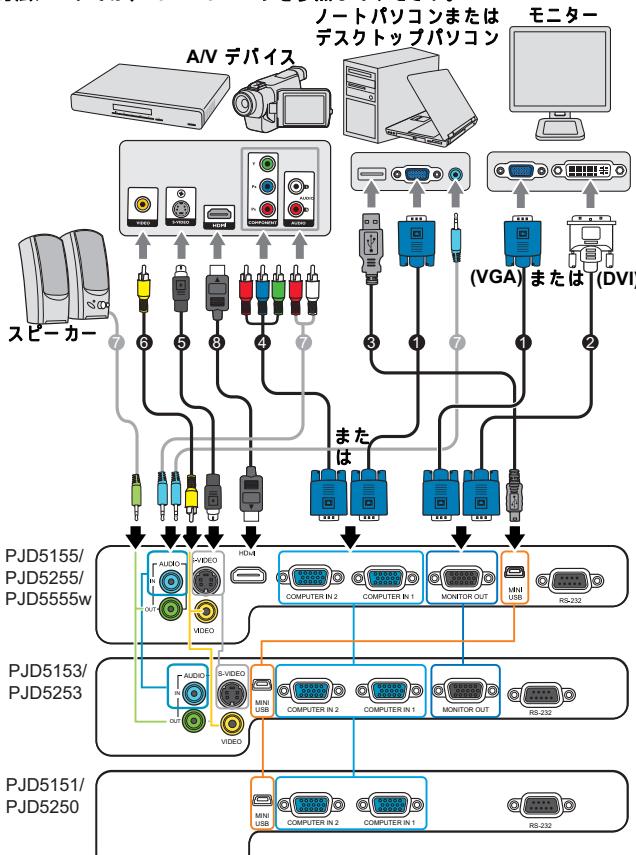
信号ソースをプロジェクタに接続する際、次の点を確認してください。

- すべての接続を行う前に、すべての機器の電源を切ってください。
- 各ソースに正しい信号ケーブルを使用してください。
- ケーブルがしっかりと挿入されていることを確認してください。

以下の接続では、一部のケーブルはプロジェクタに付属していない可能性があります（「パッケージ内容」（5 ページ）を参照）。それらは、電気店で市販されています。

下記の接続図は参考用です。プロジェクタで利用可能な背面の接続ジャックは、それぞれのプロジェクタモデルにより異なります。

詳細な接続方法については、16～18 ページを参照してください。



- | | |
|---|---------------|
| 1. VGA ケーブル | 5. S ビデオ ケーブル |
| 2. VGA - DVI-A ケーブル | 6. ビデオ ケーブル |
| 3. USB ケーブル | 7. オーディオ ケーブル |
| 4. コンポーネント ビデオ - VGA (D-Sub) アダプター ケーブル | 8. HDMI ケーブル |

コンピュータまたはモニターの接続

コンピュータの接続

- 付属の VGA ケーブルの一方の端をコンピュータの D-Sub 出力ソケットに接続します。
- VGA ケーブルのもう一方の端をプロジェクタの **コンピュータ入力 1** または **コンピュータ入力 2** 信号入力ソケットに接続します。
- リモートマウス制御機能を使用する場合は、USB ケーブルの大きい端をコンピュータの USB ポートに接続し、小さい端をプロジェクタの **ミニ USB** ソケットに接続します。詳細は、「[リモートマウス制御の使用](#)」(10 ページ) を参照してください。

☞多くのノートパソコンは、プロジェクタに接続しても、その外部ビデオポートはオンに切り替わりません。通常、FN + F3 または CRT/LCD キーなどのキーの組み合わせにより、外部ディスプレイのオン / オフを切り替えます。CRT/LCD のラベルが付いたファンクションキーまたはノートパソコンでは、モニター記号の付いたファンクションキーを探してください。FN キーとそのラベルの付いたファンクションキーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書を参照してください。

モニターの接続

スクリーン上に加えて、モニター上でプレゼンテーションをクローズアップして参照する場合、以下の手順に従い、VGA ケーブルを使って、**モニター出力** 信号出力ソケットを外部モニターに接続することができます。

- 「[コンピュータの接続](#)」(16 ページ) に記載の通り、プロジェクタをコンピュータに接続します。
- 適切な VGA ケーブル(1 本のみ付属)の一方の端をビデオモニターの D-Sub 入力ソケットに接続します。
あるいは、お使いのモニターが、DVI 入力ソケットを備えている場合は、VGA - DVI-A ケーブルの DVI の端をビデオモニターの DVI 入力ソケットに接続します。
- ケーブルのもう一方の端をプロジェクタの **モニター出力** ソケットに接続します。

☞モニター出力出力は、コンピュータ入力 1 接続がプロジェクタに対して行われた時のみ動作します。

☞プロジェクタがスタンバイモードにある時、この接続方法を使用するには、アクティブ VGA 出力機能を **ソース > スタンバイ設定メニュー** の下でオンに切り替えてください。

ビデオソースデバイスの接続

以下の出力ソケットのいずれかを提供する様々なビデオソースデバイスにプロジェクタを接続することができます。

- HDMI
- コンポーネントビデオ
- Sビデオ
- ビデオ(コンポジット)

上記接続方法のいずれかを用いて、ビデオソースデバイスにプロジェクタを接続する必要があるだけですが、それぞれが、異なるレベルのビデオ品質を提供します。以下に説明する通り、選択する方法は、プロジェクタとビデオソースデバイス両方に合致する利用可能な端子に依存する可能性が最も高くなります。

最高のビデオ品質

利用可能な最良のビデオ接続方法は、HDMIです。ソースデバイスにHDMIソケットが装備されている場合、非圧縮デジタルビデオ品質を楽しむことができます。

プロジェクタをHDMIソースデバイスに接続する方法およびその他の詳細については、「[HDMIデバイスの接続](#)」(18ページ)を参照してください。

HDMIソースが使用できない場合、次の最高のビデオ信号は、コンポーネントビデオです(コンポジットビデオと混同しないでください)。デジタルテレビチューナーおよびDVDプレーヤーは、コンポーネントビデオをネイティブに出力します。お使いのデバイス上で利用可能な場合、これは(コンポジット)ビデオに優先して選択する接続方法でなければなりません。

プロジェクタをコンポーネントビデオデバイスに接続する方法については、「[コンポーネントビデオソースデバイスの接続](#)」(18ページ)を参照してください。

より良いのビデオ品質

Sビデオは、標準コンポジットビデオよりも、良い品質のアナログビデオを提供します。コンポジットビデオ端子およびSビデオ端子の両方がビデオソースデバイス上にある場合、Sビデオオプションの使用を選択するようにしてください。

プロジェクタをSビデオデバイス接続する方法については、「[Sビデオソースデバイスの接続](#)」(18ページ)を参照してください。

最小限のビデオ品質

コンポジットビデオは、アナログビデオです。そして、完全に許容されます。しかし、その品質は、お使いのプロジェクタから得られる最適な品質よりも低く、ここで説明する利用可能な方法では最低のビデオ品質です。

プロジェクタをコンポジットビデオデバイスに接続する方法については、「[コンポジットビデオソースデバイスの接続](#)」(19ページ)を参照してください。

オーディオの接続

プロジェクタには、ビジネス目的用のデータプレゼンテーションに伴う基本オーディオ機能を提供するために設計された内蔵モノラルスピーカーが搭載されています。これは、ホームシアターまたはホームシネマ用途で期待されるステレオオーディオ再生用に設計されたものでも、それを意図したものでもありません。ステレオオーディオ入力(提供される場合)は、プロジェクタのスピーカーを通して、共通のモノラルオーディオ出力に混合されます。

希望する場合は、プレゼンテーションにおいて、プロジェクタの（ミックス モノラル）スピーカーを使用することができます。また、独立したアンプ内蔵スピーカーをプロジェクタのオーディオ出力ソケットに接続することができます。オーディオ出力はミックス モノラル信号です。そして、プロジェクタの音量およびミュート設定により制御されます。

独立したサウンドシステムをお持ちの場合、ビデオソースデバイスのオーディオ出力をモノラルオーディオプロジェクタの代わりにそのサウンドシステムに接続することになります。

HDMI デバイスの接続

プロジェクタと HDMI デバイス間の接続を行う場合は、HDMI ケーブルを使用する必要があります。

1. HDMI ケーブルの一方の端をビデオデバイスの HDMI 出力ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をプロジェクタの HDMI 入力ポートに接続します。

☞ プロジェクタを DVD プレーヤーにプロジェクタの HDMI 入力を介して接続した時、投影画像が誤った色で表示される場合は、色空間を YUV に変更してください。詳細は、「[HDMI 入力設定の変更](#)」(24 ページ) を参照してください。

☞ プロジェクタは、ステレオオーディオ入力が接続されている場合でも、ミックス モノラルオーディオのみしか再生できません。詳細は、「[オーディオの接続](#)」(17 ページ) を参照してください。

コンポーネントビデオソースデバイスの接続

お使いのビデオソースデバイスを調べ、未使用の利用可能なコンポーネントビデオ出力ソケットがあるかどうかを判断してください。

- ある場合は、この手順を継続することができます。
 - ない場合は、デバイスに接続するために使用できる方法を再評価する必要があります。
1. VGA (D-Sub) - コンポーネントアダプター ケーブルの 3 RCA タイプコネクタの付いた端をビデオソースデバイスのコンポーネントビデオ出力ソケットに接続します。プラグの色とソケットの色を緑色は緑色、青色は青色、そして、赤色は赤色に一致させます。
 2. VGA (D-Sub) - コンポーネントアダプター ケーブルのもう一方の端(D-Sub タイプコネクタ付き)をプロジェクタのコンピュータ入力 1 またはコンピュータ入力 2 ソケットに接続します。

☞ プロジェクタは、ステレオオーディオ入力が接続されている場合でも、ミックス モノラルオーディオのみしか再生できません。詳細は、「[オーディオの接続](#)」(17 ページ) を参照してください。

☞ プロジェクタをオンに切り替え、正しいビデオソースを選択した後、選択したビデオ画像が表示されない場合は、ビデオソースデバイスがオンに切り替えられ、正しく動作していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

☞  VGA - コンポーネントアダプター
(ViewSonic P/N:CB-00008906)

S ビデオソースデバイスの接続

お使いのビデオソースデバイスを調べ、未使用の利用可能な S ビデオ出力ソケットがあるかどうかを判断してください。

- ある場合は、この手順を継続することができます。
- ない場合は、デバイスに接続するために使用できる方法を再評価する必要があります。

- Sビデオケーブルの一方の端をビデオソースデバイスのSビデオ出力ソケットに接続します。
- Sビデオケーブルのもう一方の端をプロジェクタのSビデオソケットに接続します。

- ☞ プロジェクタは、ステレオオーディオ入力が接続されている場合でも、ミックスモノラルオーディオのみしか再生できません。詳細は、「[オーディオの接続](#)」(17ページ)を参照してください。
- ☞ プロジェクタをオンに切り替え、正しいビデオソースを選択した後、選択したビデオ画像が表示されない場合は、ビデオソースデバイスがオンに切り替えられ、正しく動作していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- ☞ プロジェクタとこのSビデオソースデバイスの間をコンポーネントビデオ接続を用いて既に実施済の場合、このデバイスをSビデオ接続を用いて接続する必要はありません。なぜなら、これは、より悪い画質の不要な第二接続になるからです。詳細は、「[ビデオソースデバイスの接続](#)」(17ページ)を参照してください。

コンポジットビデオソースデバイスの接続

お使いのビデオソースデバイスを調べ、未使用の利用可能なコンポジットビデオ出力ソケットがあるかどうかを判断してください。

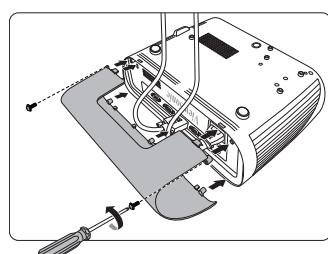
- ある場合は、この手順を継続することができます。
 - ない場合は、デバイスに接続するために使用できる方法を再評価する必要があります。
- ビデオケーブルの一方の端をビデオソースデバイスのコンポジットビデオ出力ソケットに接続します。
 - ビデオケーブルのもう一方の端をプロジェクタのビデオソケットに接続します。

- ☞ プロジェクタは、ステレオオーディオ入力が接続されている場合でも、ミックスモノラルオーディオのみしか再生できません。詳細は、「[オーディオの接続](#)」(17ページ)を参照してください。
- ☞ プロジェクタをオンに切り替え、正しいビデオソースを選択した後、選択したビデオ画像が表示されない場合は、ビデオソースデバイスがオンに切り替えられ、正しく動作していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- ☞ コンポーネントビデオおよびSビデオ入力が利用できない場合のみ、コンポーネントビデオ接続を用いて、このデバイスを接続する必要があります。詳細は、「[ビデオソースデバイスの接続](#)」(17ページ)を参照してください。

ケーブル管理カバー(オプション付属品)の使用

このケーブル管理カバーは、プロジェクタ背面に接続されているケーブルを隠し、整理するのに役立ちます。プロジェクタを天井取付、または、壁取付する際に、特に便利です。

- すべてのケーブルが正しくプロジェクタに接続していることを確認してください。
- プロジェクタ背面にケーブル管理カバーを取り付けます。
- ケーブル管理カバーを固定しているネジを締めます。



操作

プロジェクタの起動

1. プロジェクタとコンセントに電源コードを接続しますコンセントのスイッチをオンに切り替えます(取り付けられている場合)。
2. ◇電源を押して、プロジェクタを起動します。ランプが点灯すると同時に「電源オン着信音」が聞こえます。プロジェクタがオフになっている間、電源インジケータライトは青色のままです。

(必要があれば) フォーカス リングを回転して、画像の鮮明さを調整します。

☞ プロジェクタが前回動作により高温になっている場合、ランプに通電する前に約 60 秒間冷却ファンが動作します。

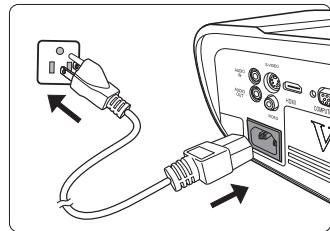
☞ ランプ寿命を維持するため、プロジェクタをオンに切り替えたら、オフに切り替えるまでに、少なくとも 5 分間待機してください。

☞ 着信音をオフに切り替える場合、詳細は、「オフに切り替える電源オン / オフ着信音」(35 ページ) を参照してください。

3. プロジェクタを初めてアクティブにする場合は、以下のスクリーン上の指示に従って、OSD 言語を選択してください。
4. 接続されたすべての装置をオンに切り替えます。
5. プロジェクタが入力信号の検索を開始します。スクリーンの左上隅に現在入力されている入力信号が表示されます。プロジェクタが有効な信号を検出できない場合、入力信号が見つかるまで、メッセージ「信号がありません」が表示され続けます。

また、Source(ソース)を押して、所望の入力信号を選択することができます。詳細は、「入力信号の切替」(24 ページ) を参照してください。

☞ 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えている場合、ブランクスクリーン上にメッセージ「範囲外です」が表示されます。プロジェクタの解像度に互換性のある入力信号に変更するか、入力信号の設定を低くします。詳細は、"Timing chart" on page 56 を参照してください。



メニューの使用

プロジェクトは、様々な調整および設定を行うためにオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを装備しています。

下の OSD のスクリーンショットは参照用のみであり、実際のデザインとは異なる場合があります。

以下は、OSD メニューの概要です。

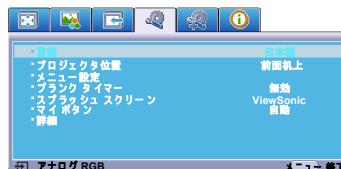


OSD メニューを使用するために、最初に言語を選択してください。

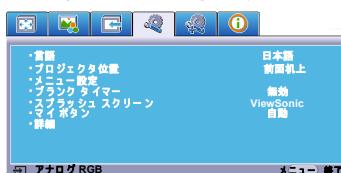
1. メニューを押して、OSD メニューをオンに切り替えます。



3. ▼ を押して、言語を強調表示し、◀/▶を押して、お好みの言語を選択します。



2. ◀/▶を使って、システム設定：基本メニューを強調表示します。



4. 終了を2回*押して、終了し、設定を保存します。

*1回目に押すとメインメニューに戻り、2回目に押すと OSD メニューを閉じます。



: システム設定：基本



: システム設定：詳細



: 情報

パスワード機能の利用

セキュリティ目的および不正使用を防止するために、プロジェクトには、パスワードセキュリティを設定するためのオプションが含まれます。パスワードをオブスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを介して設定することができます。OSDメニュー操作の詳細は、「[メニューの使用](#)」(21ページ)を参照してください。

☞ パスワード機能を有効にし、パスワードを忘れた場合は、困ることになります。パスワードをメモし、後日思い出せるよう、そのメモを安全な場所に保管してください。

パスワードの設定

☞ パスワードを設定し、電源オンロックを有効にすると、プロジェクトを起動する際、正しいパスワードを入力しない限り、プロジェクトを使用することができなくなります。

1. OSDメニューを開き、システム設定：詳細>詳細>セキュリティ設定メニューに進みます。
2. エンターを押し、セキュリティ設定ページを表示します。
3. 電源オンロックを強調表示し、◀/▶を押すことで、オンを選択します。
4. 右図に示す通り、4つの矢印キー(◀、▲、▼、▶)は、それぞれ4つの数字(1、2、3、4)を表しています。設定するパスワードに応じて、矢印キーを押して、パスワード用に6つの数字を入力します。
5. 再度入力することで、新しいパスワードを確認します。
6. パスワードが設定されると、OSDメニューはセキュリティ設定ページに戻ります。
6. OSDメニューを終了するには、終了を押します。



パスワードを忘れた場合

パスワード機能をアクティブラ化した場合、プロジェクトをオンに切り替えるごとに6桁のパスワードの入力を求められます。誤ったパスワードを入力すると、右図に示す通り、パスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次いで、メッセージ「パスワードを入力してください」が表示されます。別な6桁のパスワードを入力することで再試行することができます。あるいは、このユーザーマニュアルにパスワードを記録しておらず、完全にそれを思い出すことができない場合、パスワードリコール手順を使用することができます。詳細は、「[パスワードリコール手順に入る](#)」(23ページ)を参照してください。



連続して5回誤ったパスワードを入力すると、プロジェクトは自動的に短時間にシャットダウンします。

パスワードリコール手順に入る

1. リモコンの**自動同期**を3秒間長押しします。プロジェクタは、スクリーン上にコード化された数字を表示します。
2. 数字を書き留め、プロジェクタをオフに切り替えてください。
3. 最寄りのサービスセンターに支援を求め、数字をデコードしてください。あなたが、プロジェクタの正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

□ 上のスクリーンショットに表示される「XXXX」は、異なるプロジェクタモデルに応じて変化する数字です。



パスワードの変更

1. OSDメニューを開き、**システム設定**:**詳細**>**詳細**>**セキュリティ設定**>**パスワードの変更**メニューに進みます。
2. エンターを押します。メッセージ「現在のパスワードを入力してください」が表示されます。
3. 古いパスワードを入力します。
 - パスワードが正しい場合、別なメッセージ「新しいパスワードを入力してください」が表示されます。
 - パスワードが間違っている場合、パスワードエラーメッセージが5秒間表示され、再試行を求めるため、メッセージ「現在のパスワードを入力してください」が表示されます。終了を押してキャンセルする、または、別なパスワードを試します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 再度入力することで、新しいパスワードを確認します。
6. プロジェクタに新しいパスワードを割り当てることに成功しました。次回プロジェクタを起動する際、必ず新しいパスワードを入力してください。
7. OSDメニューを終了するには、終了を押します。

□ 入力する数字は、スクリーン上にアスタリスクとして表示されます。パスワードをメモし、後日思い出せるよう、そのメモを安全な場所に保管してください。

パスワード機能を無効にする

1. OSDメニューを開き、**システム設定**:**詳細**>**詳細**>**セキュリティ設定**>**電源オンロック**メニューに進みます。
2. ◀/▶を押して、オフを選択します。
3. メッセージ「パスワードを入力してください」が表示されます。現在のパスワードを入力します。
 - パスワードが正しい場合、OSDメニューは、セキュリティ設定の行に「オフ」を表示しながら、電源オンロックページに戻ります。次回プロジェクタをオンに切り替えてても、パスワードを入力する必要はありません。
 - パスワードが間違っている場合、パスワードエラーメッセージが5秒間表示され、再試行を求めるため、メッセージ「現在のパスワードを

「**入力してください**」が表示されます。終了を押してキャンセルする、または、別なパスワードを試します。

☞ パスワード機能を無効にしても、古いパスワードを入力してパスワード機能を再有効化する必要があるので、古いパスワードを維持する必要があります。

入力信号の切替

プロジェクタを同時に複数のデバイスに接続することができます。しかし、一度に1つのフル画面のみを表示することができます。

プロジェクタに自動的に信号を検索させる場合は、**クリック自動検索**機能をソースメニューで必ずオンにしてください。

また、リモコンのソース選択キーの1つを押す、または、利用可能な入力信号を順番に切り替えることで、所望の信号を手動で選択することができます。

1. **Source (ソース)**を押します。ソース選択バーが表示されます。
2. ▲/▼を所望の信号が選択されるまで押し、エンターを押します。

検出されると、選択されたソースの情報が、数秒間、スクリーン上に表示されます。プロジェクタに複数のデバイスが接続されている場合、別な入力信号を検索するため、手順1～2を繰り返します。

☞ 投影画像の輝度レベルは、異なる入力信号間に切り替えているかに応じて変更されます。一般的に、ほとんど静止画を使用するデータ（グラフ）「PC」プレゼンテーションは、ほとんど動画（ムービー）を使用する「ビデオ」よりも明るくなります。

☞ 入力信号タイプは、カラー モードに対して利用可能なオプションに影響を与えます。詳細は、「**画像モードの選択**」(28ページ)を参照してください。

☞ このプロジェクタのネイティブな表示解像度については、「**Projector specifications**」 on page 53を参照してください。最高の表示画像結果を実現するために、この解像度を出力する入力信号を選択・使用します。その他の解像度は、「**横横比**」設定に応じてプロジェクタによってスクーリングされます。これは、画像の歪み、または、画像の鮮明さの喪失につながります。詳細は、「**横横比の選択**」(27ページ)を参照してください。

HDMI 入力設定の変更

プロジェクタをデバイス (DVD または Blu-ray プレーヤーなど) にプロジェクタの HDMI 入力を介して接続し、投影画像が誤った色を表示する場合は、色空間を出力デバイスの色空間設定に一致する適切な色空間に変更してください。

これを行うには：

1. OSD メニューを開き、**画像 > HDMI 設定**メニューに進みます。
2. エンターを押します。

PJD5155/PJD5255/PJD5555w

	D-Sub/コンポ 1
	D-Sub/コンポ 2
	HDMI
	ビデオ
	Sビデオ

PJD5153/PJD5253

	D-Sub/コンポ 1
	D-Sub/コンポ 2
	ビデオ
	Sビデオ

PJD5151/PJD5250

	D-Sub/コンポ 1
	D-Sub/コンポ 2

- HDMI フォーマットを強調表示し、◀/▶ を押して、接続される出力デバイスの色空間に応じて、適切な色空間を選択します。
 - RGB**: 色空間を RGB として設定します。
 - YUV**: 色空間を YUV として設定します。
 - 自動**: プロジェクタを入力信号の色空間設定を自動的に検出するように設定します。
- HDMI 範囲を強調表示し、◀/▶ を押して、接続される出力デバイスの色空間に応じて、適切な色空間を選択します。
 - 拡張**: HDMI の色範囲を 0 ~ 255 として設定します。
 - ノーマル**: HDMI の色範囲を 15 ~ 235 として設定します。
 - 自動**: プロジェクタを入力信号の HDMI 範囲を自動的に検出するように設定します。

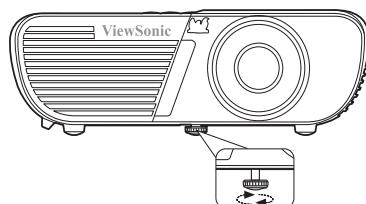
 この機能は、HDMI 入力ポートを使用している場合のみ利用可能です。

 色空間および HDMI 範囲設定に関する情報については、デバイスの説明書を参照してください。

投影画像の調整

投影角度の調整

プロジェクタは、アジャスター フットを装備しています。これは、画像の高さおよび垂直投影角度を変更します。画像が希望の位置に配置されるまで、アジャスター フットをねじ込んで微調整します。



プロジェクタを平面上に配置していない場合、または、スクリーンとプロジェクタが互いに垂直ではない場合、投影画像は台形になります。この状況を修正するには、詳細は、「キーストーンの修正」(26 ページ) を参照してください。

 ランプがオンになっている間は、レンズをのぞきこまないでください。ランプからの強い光により、眼の損傷につながる可能性があります。

画像の自動調整

一部のケースでは、画質の最適化が必要になる可能性があります。これを行うには、リモコンの **自動同期** を押します。3 秒以内に、内蔵インテリジェント自動調整機能が、周波数とクロックの値を再調整して、最良の画質を提供します。

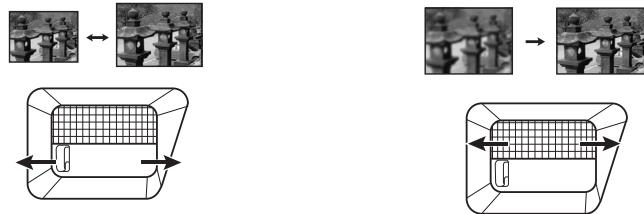
現在のソースの情報が、スクリーンの左上隅に 5 秒間表示されます。

 スクリーンは、自動調整が機能している間、ブランクになります。

 この機能は、PC D-Sub 入力信号 (アナログ RGB) が選択されている場合のみ有効です。

画像の鮮明さの微調整

- ズームリングを使って、投影画像を必要なサイズに調整します。
- 必要があれば、フォーカス リングを回転することで、画像をシャープにします。



キーストーンの修正

キーストーンとは、投影画像の上部または下部が大きく広がってしまう状態のことです。これは、プロジェクタがスクリーンに対して垂直でない時に発生します。

これを修正するには、プロジェクタの高さを調整するほかに、次の手順にいずれかに従って、手動で修正する必要があります。

- リモコンの使用

△/□を押して、キーストーン修正ページを表示します。△を押して、画像上部のキーストーンを修正します。□を押して、画像下部のキーストーンを修正します。



- OSDメニューの使用

- OSDメニューを開き、表示>キーストーンメニューに進みます。
- エンターを押します。キーストーン修正ページが表示されます。
- △を押して、画像上部のキーストーンを修正し、□を押して、画像下部のキーストーンを修正します。

拡大する、および、詳細を検索する

投影画像上の詳細を検索する必要がある場合は、画像を拡大します。画像を移動するには、方向矢印キーを使用します。

- リモコンの使用

- リモコンの④を押して、ズームバーを表示します。
- 繰り返し▲を押して、所望のサイズに画像を拡大します。
- 画像を移動するには、エンターを押して、パンモードに切り替え、方向矢印(◀、▲、▼、▶)を押して、画像を移動します。
- 画像サイズを縮小するには、エンターを押して、ズームイン/アウト機能に切り替え、▼を元にサイズが復元されるまで繰り返し押します。また、リモコンの自動同期を押して画像を元のサイズに復元します。

- OSDメニューの使用

- OSDメニューを開き、表示>ズームメニューに進みます。
- エンターを押します。ズームバーが表示されます。
- 上記リモコンの使用セクションの手順2~4を繰り返します。

この機能は、PC入力信号が選択されている場合のみ有効です。

 画像が拡大された後でのみ、移動することができます。詳細を検索しながら、画像を更に拡大することができます。

縦横比の選択

「縦横比」とは、画像の幅と高さの比です。ほとんどのアナログテレビとコンピュータは、4:3 の縦横比で、デジタルテレビと DVD は、通常 16:9 の縦横比です。

デジタル信号処理の出現により、プロジェクタなどのデジタルディスプレイデバイスは、画像入力信号の縦横比とは異なる縦横比に画像出力を動的に伸縮およびスケーリングすることができます。

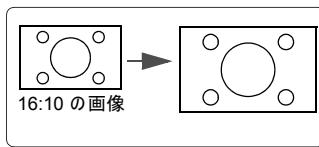
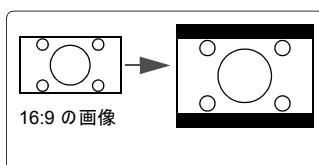
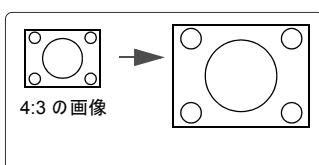
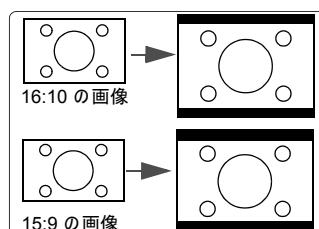
投影画像の縦横比を変更するには(ソースがどのような縦横比であっても):

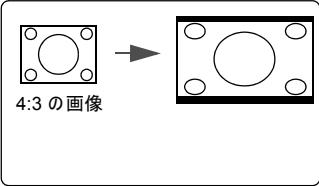
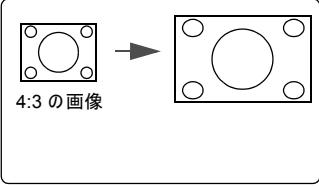
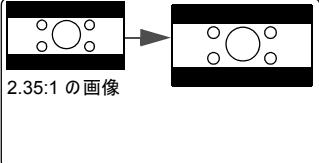
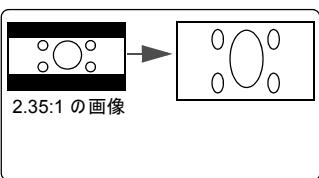
1. OSD メニューを開き、表示>縦横比 メニューに進みます。
2. ◀/▶ を押して、ビデオ信号のフォーマットおよび表示要件に対して適切な縦横比を選択します。

縦横比について

 下の画像では、黒い部分は非アクティブ領域で、白い部分はアクティブ領域です。OSD メニューをこれらの未使用の黒い領域に表示することができます。

1. **自動**: 画像をプロジェクタのネイティブ解像度の水平幅にフィットするよう比例的にスケーリングします。これは、4:3 または 16:9 ではない入力画像に対して、画像の縦横比を変更することなく、スクリーンを最大限に活用する場合に適切です。
2. **4:3**: 画像が 4:3 の縦横比でスクリーンの中心の表示されるようにスケーリングします。これは、縦横比を変更することなく画像を表示するので、コンピュータモニター、標準精細度テレビおよび 4:3 縦横比の DVD ムービーなどの 4:3 画像に最適です。
3. **16:9**: 画像が 16:9 の縦横比でスクリーンの中心の表示されるようにスケーリングします。これは、縦横比を変更することなく画像を表示するので、高精細テレビなど既に 16:9 の縦横比になっている画像に対して最適です。
4. **16:10 (PJD5555w)**: 画像が 16:10 の縦横比でスクリーンの中心の表示されるようにスケーリングします。これは、縦横比を変更しませんので、既に 16:10 の縦横比である画像に最適です。



5. **ワイド** (PJD5555w): 4:3 の縦横比の画像を垂直方向および水平方向に非線形的にスケーリングし、16 : 9 の縦横比のスクリーンにフィットするようにします。
- 
6. **Panorama** (PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/PJD5255): 4:3 の縦横比の画像を垂直方向および水平方向に非線形的にスケーリングし、スクリーンにフィットするようにします。
- 
7. **2.35:1** (PJD5155/PJD5255/PJD5555w): 縦横比を変更することなく、画像が 2.35:1 の縦横比でスクリーンの中心の表示されるようにスケーリングします。
- 
8. **アナモルフィック** (PJD5155/PJD5255/PJD5555w): 2.35:1 の縦横比の画像をスクリーンにフィットするようスケーリングします。
- 

画像の最適化

画像モードの選択

プロジェクタには、動作環境および入力信号画像タイプに合致する画像モードを選択できるように、いくつかの事前定義画像モードがプリセットされています。

ニーズに合致する動作モードを選択するには、以下の手順にいずれかに従います。

- 所望のモードが選択されるまで、カラー モードを繰り返し押します。
- 画像 > カラー モードメニューに進み、◀/▶ を押して、所望のモードを選択します。

異なる信号タイプに対する画像モード

異なる信号タイプに対して利用可能な画像モードを以下に示します。

1. **最輝度 モード**: 投影画像の輝度を最大化します。このモードは、明るい部屋でプロジェクタを使用するなど、特別な高輝度が要求される環境に適しています。
2. **ダイナミック モード**: PC の色に合わせて昼光環境下でのプレゼンテーションのために設計されています。また、プロジェクタは、投影されるコンテンツに応じてダイナミック PC 機能を用いて画質を最適化します。
3. **標準 モード**: PC の色に合わせて昼光環境下でのプレゼンテーションのために設計されています。

4. **表示一致 モード** : 高輝度性能と正確な色性能との間を切り替えます。
5. **ムービー モード** : カラフルなムービー、デジタルカメラからのビデオクリップ、または、PC 入力を介する DV を暗い環境で最も見やすく再生するのに適しています。

スクリーン カラーの使用

白色ではない塗装された壁などの着色された面上に投影する状況では、スクリーン カラー 機能は、ソースと 投影画像間の可能な色の違いを防止するため、投影画像の色を修正することができます。

この機能を使用するには、表示>スクリーン カラー メニューに進み、◀/▶ を押して、投影面の色に最も近い色を選択します。いくつかの事前校正された色：ホワイトボード、グリーンボード、および、ブラックボード を用意しています。

 この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。

ユーザー モードでの画質の微調整

検出される信号タイプに応じて、いくつかのユーザー 定義機能が利用可能です。必要に応じて、これらの機能を調整することができます。

輝度の調整

画像>輝度 メニューに進み、◀/▶ を押します。

値を大きくすれば、画像がより明るくなります。
設定を低くすれば、画像がより暗くなります。画像の黒い領域が黒く見え、暗い領域の詳細が見えるように、この制御を調整します。



コントラストの調整

画像>コントラスト メニューに進み、◀/▶ を押します。

値を大きくすれば、コントラストがより強くなります。これを使って、輝度 設定を調整した後、選択した入力および閲覧環境に合うようにピーク白色レベルを設定します。



カラーの調整

画像>詳細>カラー メニューに進み、◀/▶ を押します。

設定を低くすれば、彩度の低い色が生成されます。設定が高すぎると、画像の色が不自然に強調されます。

色合の調整

画像>詳細>色合 メニューに進み、◀/▶ を押します。

値を大きくすると、赤みがかった画像になります。値を小さくすると、緑がかかった画像になります。

シャープネスの調整

画像>詳細>シャープネス メニューに進み、◀/▶ を押します。

値を大きくすると、より鮮明な画像になります。値を小さくすると、よりソフトな画像になります。

極彩色の調整

画像>詳細>極彩色 メニューに進み、◀/▶ を押します。

この機能は、投影画面に真実に近い、より鮮やかな色を提供しながら、より高い輝度を可能にするために新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルの機能

強化を利用しています。これは、ビデオおよび自然な風景でよく見られる中間調画像の輝度を50%以上を上げることができますので、リアルで自然な色を再現します。その品質の画像を希望する場合は、ニーズに合致するレベルを選択してください。必要がない場合は、オフを選択してください。

オフが選択されている場合、色温度機能は利用できません。

画像ノイズの低減

画像>詳細>ノイズ除去メニューに進み、◀/▶を押します。

この機能は、異なるメディアプレーヤーに起因する電気的な画像ノイズを低減します。設定を高くすれば、ノイズがより低くなります。

ガンマ設定の選択

画像>詳細>ガンマメニューに進み、◀/▶を押することで、所望の設定を選択します。

ガンマとは、入力ソースと画像輝度との間の関係を指します。

色温度の選択

画像>色温度メニューに進み、◀/▶を押します。

色温度*設定に対して利用可能なオプションは、選択される信号タイプにより異なります。

1. **冷色**: 最高の色温度では、**冷色**は、画像を他の設定よりも、最も青みがかった白色で表示します。
2. **中間**: 画像を青みがかった白色で表示します。
3. **ノーマル**: 白の色合いを通常に保ちます。
4. **暖色**: 画像を赤みがかった白色で表示します。

*色温度について

様々な目的のために「白色」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表現する一般的な方法の1つは「色温度」として知られています。色温度の低い白色は赤みがかって見えます。色温度の高い白色は青みがかって見えます。

希望の色温度の選択

1. 画像>色温度メニューに進みます。
2. ◀/▶を押して、**冷色**、**中間**、**ノーマル**または**暖色**選択し、エンターを押します。
3. ▲/▼を押して、変更する項目を強調表示して、◀/▶を押すことで値を調整します。
 - **赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン**: 赤色、緑色および青色のコントラストレベルを調整します。
 - **赤オフセット/緑オフセット/青オフセット**: 赤色、緑色および青色の輝度レベルを調整します。

☞ この機能は、PC入力信号が選択されている場合のみ有効です。

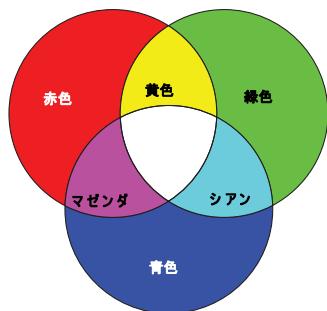
色管理

重役会議室、レクリエーションルーム、または、ホームシアターなど照明レベルを調整できる場所に設置する場合、色管理を考慮する必要があります。色管理は、必要とする場合、より正確な色再現を可能にするために細かな色制御調整を提供します。

様々な色テスト パターンが含まれ、モニター、テレビ、プロジェクなどのカラー表示をテストするために使用することができるテストディスクを購入した場合、スクリーン上にディスクから画像を投影し、**色管理**メニューに入り、調整を行うことができます。

設定を調整するには：

1. OSD メニューを開き、**画像 > 詳細 > 色管理** メニューに進みます。
2. エンター を押し、**色管理** ページを表示します。
3. 原色を強調表示して、◀/▶ を押して、赤色、黄色、緑色、シアン、青色またはマゼンダから色を選択します。
4. ▼ を押して、**色相**を強調表示して、◀/▶ を押して、その範囲を選択します。範囲内で値を増やすと、2 つの隣接する色のより多くの割合で構成される色を含むようになります。
色が互いにどのように関係するかについては、右図を参照してください。
例えば、赤色を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投影画像の中で純粋な赤色のみが選択されます。その範囲を大きくすると、黄色に近い赤色とマゼンタに近い赤色が含まれます。
5. ▼ を押して、**彩度**を強調表示して、◀/▶ を押すことで、希望の値に調整します。
すべての調整は、画像に直ちに反映されます。
例えば、赤色を選択し、その値を 0 に設定した場合、純粋な赤色の彩度が影響を受けます。
6. ▼ を押して、**ゲイン**を強調表示し、◀/▶ を押すことで、希望の値に調整します。選択した原色のコントラストレベルが影響を受けます。すべての調整は、画像に直ちに反映されます。
7. 他の色調整について、手順 3 から 6 を繰り返します。
8. すべての希望の調整を行ったことを確認してください。
9. 終了 を押して、終了し、設定を保存します。



彩度とは、ビデオ画像の色の量です。設定を低くすると、薄い色生成されます。「0」に設定すると、画像から完全に色が消えます。彩度が高すぎると、色が強烈になり、非現実的になります。

6. ▼ を押して、**ゲイン**を強調表示し、◀/▶ を押すことで、希望の値に調整します。選択した原色のコントラストレベルが影響を受けます。すべての調整は、画像に直ちに反映されます。
7. 他の色調整について、手順 3 から 6 を繰り返します。
8. すべての希望の調整を行ったことを確認してください。
9. 終了 を押して、終了し、設定を保存します。

プレゼンテーションタイマーの設定

プレゼンテーションタイマーは、プレゼンテーションを行うときに、より良い時間管理を達成するために、スクリーン上にプレゼンテーション時間を示すことができます。次のステップに従い、この機能を利用します：

1. リモコンの を押し、**プレゼンテーションタイマー** メニューにアクセスするか、または、**システム設定 : 基本 > 詳細 > プrezentationタイマー** メニューに進みます。
2. エンター を押して、**プレゼンテーションタイマー** ページを表示します。
3. **タイマー時間**を強調表示して、◀/▶ を押すことで、タイマー時間を決定します。時間の長さは、1 ~ 5 分の場合は、1 分刻みで、5 ~ 240 分の場合は、5 分刻みで設定することができます。

タイマーが既にオンになっている場合、タイマー時間がリセットされると、タイマーが再始動します。

4. ▼を押して、**タイマー表示**を強調表示して、◀/▶を押すことで、スクリーン上にタイマーを表示するか否かを選択します。

選択	説明
常時	プレゼンテーション時間を通して、スクリーン上にタイマーを表示します。
1分/2分/3分	最後の1/2/3分間のみ、スクリーン上にタイマーをします。
なし	プレゼンテーション時間を通して、タイマーを非表示にします。

5. ▼を押して、**タイマー位置**を強調表示して、◀/▶を押すことで、タイマー位置を設定します。

左上 → 左下 → 右上 → 右下

6. ▼を押して、**タイマー カウント方向**を強調表示して、◀/▶を押すことで、希望のカウント方向を選択します。

選択	説明
カウント アップ	0から事前設定された時間まで増やす
カウント ダウン	事前設定された時間から0まで減らす

7. ▼を押して、**サウンドリマインダー**を強調表示して、◀/▶を押すことで、音声アラームをアクティブにするか否かを決定します。オンを選択すると、カウントダウン/アップの最後の30秒で、2回ビープ音が鳴り、タイマー終了時に、3回ビーム音になります。
8. プrezentationタイマーをアクティブにするには、▼を押して、◀/▶を押し、**カウント開始**を強調表示して、エンターを押します。
9. 確認メッセージが表示されます。はいを強調表示して、エンターを押し、確認します。スクリーン上に「タイマーはオンです」メッセージが表示されます。タイマーがオンになると、タイマーはカウントを開始します。

タイマーをキャンセルするには、以下の手順を行います：

1. **システム設定**: 基本 > 詳細 > プrezentationタイマーメニューに進みます。
2. **オフ**を強調表示します。エンターを押します。確認メッセージが表示されます。
3. **はい**を強調表示して、エンターを押し、確認します。スクリーン上に「タイマーはオフです」メッセージが表示されます。

画像を表示にする

プレゼンターに聴衆の完全な注意を引くために、**ブランク**を押して、クリーン画像を非表示することができます。プロジェクタまたはリモコンのいずれかのキーを押して、画像を表示します。画像が非表示になっている間、スクリーンの右下隅に「**ブランク**」という言葉が表示されます。

ブランク時間を **システム設定**: 基本 > **ブランクタイマー**メニューを設定し、ブランクスクリーン上で操作が行われない場合、プロジェクタに時間経過後に自動的に画像を表示させます。

□ **ブランク**を押すと、プロジェクタは、自動的にエコノミー モードに入ります。



注意

投影中に投影レンズをふさがないでください。これにより、遮蔽物を加熱し、変形し、更に、火災の原因になります。

制御キーの固定

プロジェクトの制御キーをロックすることで、誤ってプロジェクトの設定を変更してしまうことを防止します(例えば、子供による)。パネルキー ロックがオンである場合、プロジェクトの制御キーは、**電源**を除いて動作しません。

- (パネルキー ロック)を押すか、または、システム設定:詳細>詳細>パネルキー ロックメニューに進みます。
 - ◀/▶を押して、オンを選択します。
 - 確認メッセージが表示されます。はいを選択し、確認します。
- パネルキー ロックを解除するには、■を3秒間長押しします。
- また、リモコンを使って、システム設定:詳細>詳細>パネルキー ロックメニューに入り、◀/▶を押して、オフを選択することができます。

□ パネルキー ロックが有効になっている場合でも、リモコン上のキーは機能します。

□ パネルキー ロックを無効にすることなく、**電源**を押して、プロジェクトをオフに切り替えた場合、次回、プロジェクトをオンに切り替えると、ロック状態のままです。

高地環境での操作

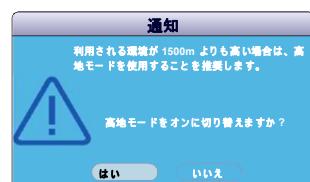
海拔1,500m ~ 3,000m、温度5°C ~ 25°Cの範囲では、**高地モード**の使用を推奨します。



高度0m ~ 1,500m、および、温度5°C ~ 35°C範囲では、高地モードを使用しないでください。そのような条件下で、このモードをオンに切り替えると、プロジェクトが過冷却されます。

高地モードをアクティブにするには：

- OSDメニューを開き、システム設定:詳細>高地モードメニューに進みます。
- ◀/▶を押して、オンを選択します。確認メッセージが表示されます。
- はいを強調表示し、エンターを押します。
「高地モード」下での動作は、高いデシベル動作ノイズを引き起こす場合があります。なぜなら、システム全体の冷却とパフォーマンスを向上させるため、必要に応じてファン速度を増加させるからです。



上記の場合を除く、他の極限環境で本プロジェクトを使用する場合、自動シャットダウン症状を示す可能性があります。これは、過熱からプロジェクトを保護するように設計されているためです。このようなケースでは、**高地モード**に切り替えて、これらの症状を解決する必要があります。しかし、これは、本プロジェクトを極限条件下で動作できることを保証するものではありません。

CEC機能の使用

本プロジェクトは、HDMI接続を介して、電源オン/オフ動作を同期するためのCEC(コンシューマーエレクトロニクスコントロール)機能をサポートしています。つまり、CEC機能をサポートするデバイスがプロジェクトのHDMI入力に接続されている場合、プロジェクトの電源がオフに切り替わると、接続されたデバイスの電源も自動的にオフに切り替わります。接続されたデバイスの電源がオンに切り替わると、プロジェクトの電源も自動的にオンに切り替わります。

CEC 機能をオンに切り替えるには：

1. OSD メニューを開き、ソース > 自動電源オン > CEC メニューに進みます。
2. ◀/▶ を押して、有効を選択します。

☞ CEC 機能を正常に動作させるため、デバイスが HDMI ケーブルを介して、プロジェクタの HDMI 入力に正しく接続され、その CEC 機能がオンに切り替わっていることを確認してください。

☞ 接続されるデバイスにより、CEC 機能が動作しない場合があります。

3D 機能の使用

本プロジェクタは、画像の深さを表現することによって、より現実的な方法で、3D ムービー、ビデオ、スポーツイベントを楽しむことが可能な 3D 機能を搭載しています。3D 画像を閲覧するために、3D メガネを着用する必要があります。

3D 信号が、HDMI 1.4a 互換デバイスからの入力である場合、プロジェクタが、3D 同期情報用の信号を検出し、そして、一旦検出すると、画像を自動的に 3D フォーマットで投影します。その他のケースでは、プロジェクタが 3D 画像を正しく投影できるよう手動で 3D 同期フォーマットを選択することが必要になる場合があります。

3D 同期 フォーマットを選択するには：

1. リモコンの 3D を押して、3D 設定メニューにアクセスするか、または、ソース > 3D 設定メニューに進みます。
2. エンターを押し、3D 設定ページを表示します。
3. 3D 同期を強調表示し、エンターを押します。
4. ▼ を押して、3D 同期設定を選択し、エンターを押して、確認します。

☞ 3D 同期機能がオンである場合：

- ・ 投影画像の輝度レベルが低減します。
- ・ カラー モードを調整できません。
- ・ ズーム機能は、画像を制限サイズまで拡大するのみです。

3D 画像深さの反転を発見した場合は、3D 同期反転機能を「反転」に設定して、問題を修正します。

スタンバイ モードでのプロジェクタの使用

スタンバイ モード（電源に接続しているが、オンに切り替えていない状態）では、一部のプロジェクタの機能が利用可能です。これらの機能を使用するには、ソース > Standby Settings（スタンバイ設定）の下で対応するメニューをオンに切り替え、ケーブル接続を正しく行っていることを確認してください。接続方法については、チャプター [接続](#) を参照してください。

アクティブ VGA 出力

オンを選択することで、コンピュータ入力 1 および コンピュータ出力 ソケットが正しくデバイスに接続されている時、VGA 信号を出力します。プロジェクタは、コンピュータ入力 1 でのみ受信される信号を出力します。

アクティブ オーディオ出力

オンを選択することで、オーディオ入力 および オーディオ出力 ソケットが正しくデバイスに接続されている時、オーディオ信号を出力します。

サウンドの調整

以下で行うサウンド調整は、プロジェクトのスピーカーに影響を与えます。プロジェクトのオーディオ入力/出力ジャックに対する正しい接続を行っていることを確認してください。詳細は、「接続」(15 ページ)を参照してください。

サウンドの消音

1. OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > オーディオ設定 > 消音メニューに進みます。
2. ◀/▶ を押して、オンを選択します。

 利用可能な場合、リモコンの ▶ を押して、プロジェクトのオーディオをオンとオフ間で切り替えることができます。

サウンドレベルの調整

1. OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > オーディオ設定 > オーディオ音量メニューに進みます。
2. ◀/▶ を押して、所望のサウンドレベルを選択します。

 利用可能な場合、リモコンの ▶+ または ▶- を押して、プロジェクトのサウンドレベルを調整することができます。

オフに切り替える電源オン / オフ着信音

1. OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > オーディオ設定 > 電源オン / オフ着信音メニューに進みます。
2. ◀/▶ を押して、オフを選択します。

 電源オン / オフ着信音を変更する唯一の方法は、ここで、オンまたはオフにすることです。サウンドを消音にする設定およびサウンドレベルの変更は、電源オン / オフ着信音に影響を与えません。

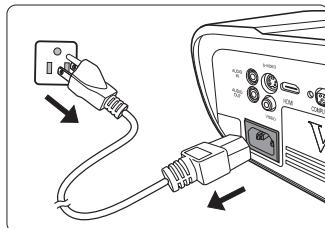
プロジェクタのシャットダウン

1. ⌂電源 を押すと、確認メッセージがプロンプト表示されます。
数秒以内に応答しないと、メッセージが消えます。
2. 再度、⌂電源 を押します。
3. 冷却プロセスが完了すると、「電源オフ着信音」が聞こえます。プロジェクタを長時間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜きます。

着信音をオフに切り替える場合、詳細は、「オフに切り替える電源オン／オフ着信音」(35 ページ)を参照してください。

⚠ 注意

- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。
- また、冷却時間を短縮するため、クイック電源オフ機能をアクティブにすることができます。詳細は、「クイック電源オフ」(43 ページ)を参照してください。
- プロジェクタのシャットダウン シーケンスが完了する前に電源コードを抜かないでください。



メニュー操作

メニュー システム

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューは、選択した信号タイプに応じて異なりますのでご注意ください。

プロジェクタが少なくとも1つの有効な信号を検出した時、メニュー項目が利用可能になります。プロジェクタに装置が接続されていない場合、または、信号が検出されていない場合、制限されたメニュー項目にのみアクセス可能です。

メインメニュー	サブメニュー	オプション
1. 表示	スクリーン カラー	オフ / ブラックボード / グリーンボード / ホワイトボード
	縦横比	自動 / 4:3/16:9/16:10 (PJD5555w)/ ウィドゥ (PJD5555w)/Panorama (PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/PJD5255)/2.35:1 (PJD5155/PJD5255/PJD5555w)/ アナモルフィック (PJD5155/PJD5255/PJD5555w)
	キーストーン	
	位置	
	位相	
	水平サイズ	
	ズーム	

2. 画像	カラー モード	最輝度 / ダイナミック / 標準 / 表示一致 / ムービー
	輝度	
	コントラスト	
	色温度	暖色 ノーマル 中間 冷色
		赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット
	オーバースキャン	オフ / 1/2/3/4/5
	HDMI 設定	HDMI フォーマット 自動 /RGB/YUV HDMI 範囲 自動 / 拡張 / ノーマル
	詳細	カラー 色合 シャープネス ガンマ 1/2/3/4/5/6/7/8 極彩色 オフ / 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10 ノイズ除去 色管理 原色 色相 彩度 ゲイン
	カラー 設定のリセット	リセット / キャンセル

メインメニュー	サブメニュー	オプション
3. ソース	クイック自動検索	オフ / オン
	3D 設定	3D 同期 自動 / オフ / フレームシーケンシャル / フレームパッキング / トップアンドボトム / サイドバイサイド
		3D 同期反転 無効 / 反転
	スタンバイ設定	アクティブ VGA 出力 オフ / オン
		アクティブ オーディオ出力 オフ / オン
	自動電源オン	コンピュータ 無効 / 有効
		CEC 無効 / 有効
		ダイレクト電源オン オフ / オン
	自動電源オフ	省電力 無効 / 10 分 / 20 分 / 30 分
		スリープ タイマー 無効 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間
4. システム設定 : 基本	スマート再起動	無効 / 有効
	クイック電源オフ	無効 / 有効
	言語	多言語 OSD 選択
	プロジェクト位置	前面机上 / 背面机上 / 背面天井 / 前面天井
	メニュー設定	メニュー表示時間 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒
		メニュー位置 中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下
	ブランク タイマー	無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分
	スプラッシュ スクリーン	黒色 / 青色 / ViewSonic / オフ
	マイボタン	自動 / 投影 (プロジェクト位置) / メニュー位置 / 色温度 / 輝度 / コントラスト / 3D 設定 / スクリーン カラー / スプラッシュスクリーン / メッセージ / クイック自動検索 / CEC / ランプ モード / DCR / クローズド キャプション / 省電力 / 固定 / 情報
		パターン オフ / 01/02/03/04/05
詳細	プレゼンテーション タイマー	メッセージ オン / オフ
		タイマー時間
		タイマー表示
		タイマー位置
		タイマー カウント方向
		サウンド リマインダー
		カウント開始 / オフ

メイン メニュー	サブメニュー	オプション
高地モード		オン / オフ
DCR		オン / オフ
オーディオ設定	消音 オーディオ音量 電源オン / オフ着信音	オン / オフ オン / オフ オン / オフ
クローズド キャブ ション		オフ / CC1/CC2/CC3/CC4
5. システム設定 : 詳細	ランプ設定	ノーマル / エコノミー / ランプ モード ダイナミック / スリープ モード
		ランプ使用時間のリセット
		ランプ使用時間
5. システム設定 : 詳細	フィルター設定	フィルター モード フィルター 時間のリセッ ト フィルター 時間
		リモート制御コード
		1/2/3/4/5/6/7/8 (すべて)
5. システム設定 : 詳細	セキュリティ設定	パスワードの変更 電源オン ロック
		パネルキー ロック
	設定のリセット	リセット / キャンセル ・ ソース ・ カラー モード ・ 解像度 ・ カラー システム ・ ランプ使用時間 ・ フィルター 時間 ・ ファームウェア バージョン
6. 情報	現在のシステムの状態	

各メニューの説明

機能	説明
1. 表示メニュー	スクリーン カラー 詳細は、「スクリーン カラーの使用」(29 ページ) を参照してください。 ☞ この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。
	縦横比 詳細は、「縦横比の選択」(27 ページ) を参照してください。
	キーストーン 詳細は、「キーストーンの修正」(26 ページ) を参照してください。
	位置 位置調整ページを表示します。投影画像を移動するには、方向矢印キーを使用します。ページの下位置に表示される値は、最大または最小に達するまで、キーの押下と共に変化します。 ☞ この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。 ☞ 調整範囲は、様々なタイミング下により異なる場合があります。
	位相 画像の歪みを低減するため、クロック位相を調整します。 ☞ この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。
	水平サイズ 画像の水平方向の幅を調整します。 ☞ この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。
	ズーム 詳細は、「拡大する、および、詳細を検索する」(26 ページ) を参照してください。
	カラー モード 詳細は、「画像モードの選択」(28 ページ) を参照してください。
2. 画像メニュー	輝度 詳細は、「輝度の調整」(29 ページ) を参照してください。
	コントラスト 詳細は、「コントラストの調整」(29 ページ) を参照してください。
	色温度 詳細は、「色温度の選択」(30 ページ) および「希望の色温度の選択」(30 ページ) を参照してください。
	オーバースキャン オーバースキャンレートを 0% から 5% で調整します。 ☞ この機能は、コンポジット ビデオまたは S ビデオ入力信号が選択されている場合のみ有効です。
	HDMI 設定 詳細は、「HDMI 入力設定の変更」(24 ページ) を参照してください。

機能	説明
2. 画像メニュー	<p>詳細</p> <p>カラー 詳細は、「カラーの調整」(29 ページ) を参照して下さい。</p> <p>色合 詳細は、「色合の調整」(29 ページ) を参照して下さい。</p> <p> この機能は、コンポジットビデオまたは NTSC システムを搭載する S ビデオ入力信号が選択されている場合のみ有効です。</p> <p>シャープネス 詳細は、「シャープネスの調整」(29 ページ) を参照して下さい。</p> <p>ガンマ 詳細は、「ガンマ設定の選択」(30 ページ) を参照して下さい。</p> <p>極彩色 詳細は、「極彩色の調整」(29 ページ) を参照して下さい。</p> <p>ノイズ除去 詳細は、「画像ノイズの低減」(30 ページ) を参照して下さい。</p> <p>色管理 詳細は、「色管理」(30 ページ) を参照してください。</p>
カラー設定のリセット	すべてのカラー設定を工場出荷時の値に戻します。
3. ソースメニュー	<p>クリック自動検索 詳細は、「入力信号の切替」(24 ページ) を参照して下さい。</p> <p>3D 設定 詳細は、「3D 機能の使用」(34 ページ) を参照して下さい。</p> <p>スタンバイ設定 詳細は、「スタンバイモードでのプロジェクタの使用」(34 ページ) を参照して下さい。</p> <p>自動電源オン</p> <p>コンピュータ 有効を選択することで、VGA ケーブルを通して、VGA 信号が供給された時、プロジェクタは自動的にオンに切り替わります。</p> <p>CEC 詳細は、「CEC 機能の使用」(33 ページ) を参照して下さい。</p> <p>ダイレクト電源オン オンを選択することで、電源コードを通して、電源が供給された時、プロジェクタは自動的にオンに切り替わります。</p>

機能	説明
3. ソースメニュー	自動電源オフ 詳細は、「 省電力の設定 」(49 ページ) を参照してださい。 スリープタイマー 詳細は、「 スリープタイマーの設定 」(50 ページ) を参照して下さい。
	スマート再起動 有効を選択することで、プロジェクトをオフに切り替えた後、120秒以内に再起動することができます。120秒後、プロジェクトがオフに切り替わらない場合、直接、スタンバイモードに入ります。  この機能を開始するには、少し時間がかかります。プロジェクトがオンになってから、4分以上経過していることを確認してください。プロジェクトがスマート再起動機能を使って再開される場合、この機能が直ちに実行されます。  有効が選択されている時、クイック電源オフ機能は、自動的に「有効」に設定されます。
	クイック電源オフ 有効を選択することで機能を有効にし、プロジェクトは、シャットダウン後に冷却プロセスに入らなくなります。無効を選択することで機能を無効にし、プロジェクトは、シャットダウン後に通常の冷却プロセスに入ります。  プロジェクトをオフに切り替えた直後に再起動しようと試みる場合、オンに切り替えることはできず、冷却モードに戻ります。  無効が選択されている時、スマート再起動機能は自動的にオフに切り替わります。
4. システム設定: 基本メニュー	言語 オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの言語を設定します。詳細は、「 メニューの使用 」(21 ページ) を参照して下さい。
	プロジェクト位置 詳細は、「 場所の選択 」(12 ページ) を参照して下さい。
	メニュー設定 メニュー表示時間 最後にキーを押してから、OSD がアクティブである時間の長さを設定します。範囲は、5 ~ 30 秒の 5 秒刻みです。 メニュー位置 オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの位置を設定します。
	ブランクタイマー 詳細は、「 画像を表示にする 」(32 ページ) を参照して下さい。

機能		説明
4. システム設定: 基本メニュー	スプラッシュ スクリーン	プロジェクト起動中にどのスクリーンを表示するかを選択することができます。
	マイボタン	リモコンでホットキーを設定します。
	詳細	<p>パターン プロジェクトは、いくつかのテスト パターンを表示することができます。これは、画像サイズおよびフォーカスの調整、および、投影画像に歪みがないことの確認に役立ちます。</p> <p>メッセージ オンを選択することで、プロジェクトが信号を検出または検索中の現在の情報を表示します。</p> <p>プレゼンテーションタイマー 詳細は、「プレゼンテーションタイマーの設定」(31 ページ) を参照してください。</p>
5. システム設定: 詳細メニュー	高地モード	詳細は、「 高地環境での操作 」(33 ページ) を参照してください。
	DCR	<p>DCR (ダイナミック コントラスト比) 機能を有効または無効にします。オンを選択することで、機能およびプロジェクトは、検出される入力画像に応じて、ノーマルモードとエコノミック モードの間でランプを自動的に切り替えることができます。</p> <p> この機能は、PC 入力信号が選択されている場合のみ有効です。</p> <p> DCR を有効すると、頻繁なランプモード切替により、ランプ寿命が短くなり、ノイズレベルは、動作中に変化します。</p>
	オーディオ設定	詳細は、「 サウンドの調整 」(34 ページ) を参照してください。

機能	説明
クローズド キャプション	<p>選択した入力信号がクローズド キャプションを搬送する場合、所望のクローズド キャプション モードを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャプション：クローズドキャプション対応の対話、ナレーション、および、テレビ番組やビデオのサウンド効果のスクリーン上の表示です（通常、テレビ番組で「CC」としてマークされます）。 <p>(☞ この機能は、コンポジットビデオまたは NTSC システムを搭載する S ビデオ入力信号が選択されている場合のみ有効です。)</p> <p>キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、または、CC4 を選択します（CC1 は、お住まいの地域の一次言語のキャプションを表示します）。</p>
ランプ設定	<p>ランプ モード 詳細は、「ランプ寿命を延ばすには」(49 ページ) を参照してください。</p> <p>ランプ使用時間のリセット 新しいランプを取り付けた後、ランプ使用時間をリセットします。ランプの交換については、資格のあるサービス担当者に連絡してください。</p> <p>ランプ使用時間 ランプ使用時間を計算する方法については、「ランプ使用時間を知るには」(49 ページ) を参照してください。</p>
フィルター設定	詳細は、「 ダスト フィルターの使用（オプション付属品） 」(48 ページ) を参照してください。
リモート制御コード	詳細は、「 リモート制御コード 」(9 ページ) を参照してください。
詳細	<p>セキュリティ 設定 詳細は、「パスワード機能の利用」(22 ページ) を参照してください。</p> <p>パネルキー ロック 詳細は、「制御キーの固定」(33 ページ) を参照してください。</p>
設定のリセット	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p>(☞ 以下の設定は残ります：キーストーン、オーバースキャン、言語、Projector Position（プロジェクタ位置）、高地モード、セキュリティ設定、リモート制御コード。)</p>

機能	説明
6. 現在のシステムの状態	<p>ソース 現在の信号ソースを表示します。</p> <p>カラー モード 画像メニューで選択されているモードを表示します。</p> <p>解像度 入力信号のネイティブ解像度を表示します。</p> <p>カラー システム 入力システムフォーマットを表示します。</p> <p>ランプ使用時間 ランプの使用時間を表示します。</p> <p>フィルター時間 フィルターの使用時間を表示します。</p> <p>ファームウェアバージョン 現在のファームウェアのバージョンを表示します。</p>

メンテナンス

プロジェクトのケア

定期的にレンズおよび / またはフィルター（オプション付属品）を清潔に維持する必要があります。

プロジェクトの部品は一切取り外さないでください。プロジェクトのいずれかの部品の交換が必要な時は、販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズを清掃してください。

- ほこりを取り除くために、圧縮空気缶を使用してください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパー、または、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

⚠ 注意

研磨材でレンズをこすらないでください。

プロジェクト ケースのお手入れ

ケースを清掃する前に、「プロジェクトのシャットダウン」(36 ページ) で説明したように、適切なシャットダウン手順を使用してプロジェクトの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- 汚れやほこりを取り除くには、柔らかい、糸くずの出ない布でケースを拭いてください。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせます。そして、ケースを拭いてください。

⚠ 注意

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、または、その他の化学洗剤を使用しないでください。これらは、ケースに損傷を与える可能性があります。

プロジェクトの保管

長期間プロジェクトを保管する必要がある場合は、以下の指示に従ってください：

- 保管領域の温度と湿度が、プロジェクトの推奨範囲内にあることを確認します。その範囲については、"Specifications" on page 53 を参照するか、販売店にご相談ください。
- アジャスター フットを格納します。
- リモコンからバッテリを取り外します。
- 元の梱包または同等の梱包で、プロジェクトを梱包します。

プロジェクトの輸送

元の梱包または同等の梱包でプロジェクトを発送することをお勧めします。

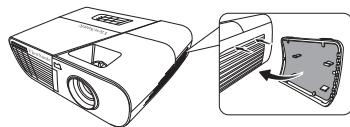
ダスト フィルターの使用(オプション付属品)

⚠ 注意

- ダスト フィルターを取り付けた後、100 時間毎にダスト フィルターを清掃することが重要です。
- フィルターを取り付ける、または、取り外す前に、必ず、プロジェクタをオフに切り替え、電源から取り外してください。
- プロジェクタが天井取付である場合、または、簡単にアクセスできない場合、ダスト フィルターを交換する際、個人的な安全に特別な注意を払ってください。

ダスト フィルターの取付

- 必ず、プロジェクタをオフに切り替え、電源から取り外してください。
- 右に示す矢印の通り、位置を合わせることでフィルターをフィットさせ、それをプロジェクタのスロットに挿入します。カチッと所定の位置に収まったことを確認します。



初めて取り付ける場合：

- OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > フィルター設定 メニューに進みます。
- Enter を押し、フィルター設定 ページを表示します。
- フィルター モードを強調表示し、◀/▶を押して、On を選択します。フィルタータイマーがカウントを開始し、プロジェクタが、フィルターの使用時間が 100 時間を超えた時、フィルターを掃除するように通知します。

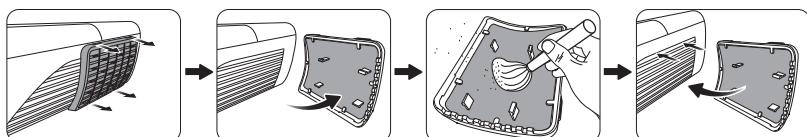
⚠ ダスト フィルター(オプション付属品)を正しく取り付けた後、プロジェクタを使用する場合のみ、フィルター モードを On に設定します。そうしないと、ランプ寿命を短くしてしまいます。

フィルター 使用時間情報の取得

- OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > フィルター設定 メニューに進みます。
- Enter を押します。フィルター設定 ページが表示されます。
- メニュー上に フィルター時間 情報が表示されます。

ダスト フィルターの清掃

- 必ず、プロジェクタをオフに切り替え、電源から取り外してください。
- ダスト フィルター上のラッチを押し、プロジェクタからフィルターを取り外します。
- 小型掃除、または、柔らかいブラシを使って、フィルターからほこりを取り除きます。
- ダスト フィルターを再度取り付けます。



フィルター 使用時間のリセット

- OSD メニューを開き、システム設定：詳細 > フィルター設定 メニューに進みます。

6. Enter を押し、フィルター設定ページを表示します。
7. フィルター時間のリセットを強調表示し、Enter を押します。フィルタータイマーをリセットするかどうかを尋ねる警告メッセージが表示されます。
8. リセットを強調表示し、Enter を押します。ランプ使用時間が「0」にリセットされます。

 **注意**

ダストフィルターを取り外した状態でプロジェクタを使用する場合は、必ず、フィルターモードをオフにシステム設定：詳細>フィルター設定メニューで設定してください。フィルターモードをオフに設定することで、フィルタータイマーをリセットしなくなります。次回、フィルターを取り付け、フィルターモードをOnに設定する際、タイマーはカウントを続行します。

ランプに関する情報

ランプ使用時間を知るには

プロジェクタの動作時に、ランプの使用時間（時間単位）は、自動的に内蔵タイマーにより算出されます。

ランプ使用時間を取得するには：

1. OSDメニューを開き、システム設定：詳細>ランプ設定メニューに進みます。
2. Enter を押し、ランプ設定ページを表示します。
3. メニュー上にランプ使用時間情報が表示されます。
4. メニューを終了するには、終了を押します。

また、情報メニューで、ランプ使用時間情報を取得することができます。

ランプ寿命を延ばすには

投影ランプは消耗品です。できるだけ長いランプ寿命を維持するために、OSDメニューを介して、以下の設定を行うことができます。

ランプモードをエコノミーとして設定する

エコノミー モードを使用することで、システムノイズおよび電力消費量を20%低減することができます。エコノミー モードが選択されている場合、光出力が減少し、結果、投影画像が暗くなります。

また、プロジェクタをエコノミー モードに選択することで、ランプの動作寿命を延ばすことができます。エコノミー モードに設置するには、システム設定：詳細>ランプ設定>ランプモードメニューに進み、◀/▶を押して、エコノミーを選択します。

省電力の設定

プロジェクタは、不要なランプ時間の浪費を避けるため、入力ソースが検出されなくなり5分間が経過した場合、電力消費量を低減します。更に、一定期間後に自動的にプロジェクタをオフにするかどうかを決定することができます。

1. OSDメニューを開き、ソース>自動電源オフメニューに進みます。
 2. Enter を押し、自動電源オフページを表示します。
 3. 省電力を強調表示し、◀/▶を押します。
 4. 無効が選択されている場合、無信号状態が5分間検出された後、プロジェクタの電力は30%低減されます。
- 10分、20分または30分を選択した場合、無信号状態が5分間検出された後、プロジェクタの電力は30%低減されます。そして、10分、20分または30分が経過した時、プロジェクタは自動的にオフに切り替わります。

スリープ タイマーの設定

この機能により、一定時間後に自動的にプロジェクタがオフに切り替わることを可能にし、ランプ寿命の不必要的な浪費を防止します。

1. OSD メニューを開き、ソース > **自動電源オフ** メニューに進みます。
2. Enter を押し、**自動電源オフ** ページを表示します。
3. **スリープ タイマー** を強調表示し、◀/▶ を押します。
4. 事前設定時間長さが、プレゼンテーションに適合しない場合は、**無効** を選択してください。プロジェクタは自動的に一定時間内にシャットダウンします。

ランプ交換のタイミング

ランプ インジケータ ライト（ランプ インジケータ ライト）が、赤色に点灯する、または、ランプの交換時期である旨を示唆するメッセージが表示されたら、新しいランプに交換するか、販売店にご相談ください。古いランプにより、プロジェクタが誤動作する可能性があり、場合によってはランプが爆発する恐れがあります。

① 注意

ランプ インジケータ ライト および 温度インジケータ ライト は、ランプが過熱した場合、点灯します。電源をオフに切り替え、プロジェクタを 45 分間冷却させます。電源を再度オンに切り替えても、ランプ インジケータ ライト または 温度インジケータ ライト が点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、「[インジケーター](#)」(52 ページ) を参照してください。

以下のラップ警告表示は、ランプの交換を通知します。

状態	Message (メッセージ)
最適な性能を得るため、新しいランプを取り付けます。通常、プロジェクタが選択されたエコノミーで動作している場合 ("Setting Lamp Mode as Economic" on page 48 を参照)、次回、ランプ使用時間警告が表示されるまで、プロジェクタを操作し続けることができます。	<p>通知</p> <p>交換用ランプを注文してください</p> <p>ランプ > ___ 時間</p> <p>OK</p>
プロジェクタのランプ時間が不足した際の不都合を避けるため、新しいランプを取り付けてください。	<p>通知</p> <p>間もなくランプ交換が必要です</p> <p>ランプ > ___ 時間</p> <p>OK</p>
この時点で、ランプを交換することを強くお勧めします。ランプは消耗品です。ランプの明るさは、使用と共に減少します。これは通常のランプの振る舞いです。輝度レベルが大幅に低下していることに気づいた時に、いつでもランプを交換することができます。ランプが事前に交換されていない場合、このメッセージが表示されたら、交換する必要があります。	<p>通知</p> <p>今すぐランプを交換してください</p> <p>ランプ > ___ 時間</p> <p>ランプ使用時間を超えました</p> <p>OK</p>

プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換する必要があります。



ランプの交換

⚠ 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。ランプの交換については、資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。

交換用ランプの番号を入力する：

- PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/PJD5255: RLC-092
- PJD5555w: RLC-093

インジケーター

ライト			状態および説明
△	●	⌚	
電源 イベント			
青色 点滅	オフ	オフ	スタンバイ モード
青色	オフ	オフ	電源投入
青色	オフ	オフ	通常動作
青色 点滅	オフ	オフ	通常のパワー ダウン冷却(3秒)
赤色	オフ	オフ	ダウンロード中
ランプ イベント			
青色 点滅	オフ	赤色	初回 ランプ点灯エラー 冷却(60秒)
オフ	オフ	赤色	通常動作中の ランプ エラー(30秒)
青色	オフ	赤色	CW 起動失敗(30秒)
熱 イベント			
オフ	赤色	オフ	ファン 1 エラー (実際のファン速度が、所望速度より $\pm 25\%$ 範囲外です。)
オフ	赤色	赤色	ファン 2 エラー (実際のファン速度が、所望速度より $\pm 25\%$ 範囲外です。)
オフ	赤色	青色	ファン 3 エラー (実際のファン速度が、所望速度より $\pm 25\%$ 範囲外です。)
オフ	赤色	紫色	ファン 4 エラー (実際のファン速度が、所望速度より $\pm 25\%$ 範囲外です。)
赤色	赤色	赤色	熱センサー 1 開放エラー (リモート ダイオードが開放状態です。)
赤色	赤色	青色	熱センサー 2 開放エラー (リモート ダイオードが開放状態です。)
青色	赤色	赤色	熱センサー 1 短絡エラー (リモート ダイオードが短絡状態です。)
オフ	赤色	青色	熱センサー 2 短絡エラー (リモート ダイオードが短絡状態です。)
紫色	赤色	赤色	温度 1 エラー (温度限界を超えて います)
紫色	赤色	青色	温度 2 エラー (温度限界を超えて います)
オフ	青色	赤色	ファン IC #1 I2C 接続エラー

トラブルシューティング

② プロジェクタがオンに切り替わりません。

原因	対処
電源コードからの電源がありません。	プロジェクタの AC 入力に電源コードを差し込み、電源コンセントに電源コードを差し込みます。電源コンセントにスイッチがある場合、そのスイッチがオンになっていることを確認します。
冷却プロセス中に再度プロジェクタをオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

② 画像が表示されません

原因	対処
ビデオソースがオンに切り替えられていな い、または、正しく接続されていません。	ビデオソースをオンに切り替え、信号ケーブルが正 しく接続されていることを確認します。
プロジェクタが正しく入力信号をデバイス に接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの Source (ソース) キーを使って、正しい入力信号を選択します。

② 画像がぼやけています

原因	対処
投影レンズのフォーカスが正しく合ってい ません。	フォーカスリングを使用してレンズのフォーカスを 調整します。
プロジェクタとスクリーンが適切に整列さ れていません。	投影角度および方向、また、プロジェクタの高さを 必要に応じて調整します。

② リモコンが動作しません

原因	対処
バッテリの電力が不足しています。	新しいバッテリと交換してください。
リモコンとプロジェクタの間に障害物が あります。	障害物を取り除きます。
プロジェクタからの距離が遠過ぎます。	プロジェクタから 8 メートル(26 フィート)以内の 場所に立ちます。

仕様

プロジェクタの仕様

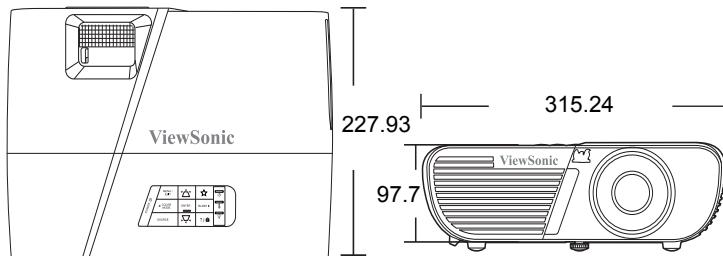
- ・ すべての仕様は予告なく変更する場合がありますので、御了承下さい。
- ・ 部分機種は国によって、異なることがありますので、詳細情報についてはピューソニック販売代理店までお問合せ下さい。

製品名	DLP プロジェクタ
解像度	PJD5151/PJD5153/PJD5155: 800 x 600 SVGA PJD5250/PJD5253/PJD5255: 1024 x 768 XGA PJD5555w: 1280 x 800 WXGA
投写方式	1チップ DMD
ランプ	190 W ランプ
電源	AC100–240V, 50–60 Hz (自動)
消費電力	265 W (最大); < 0.5 W (待機)
重量	PJD5151/PJD5153/PJD5155/PJD5250/PJD5253/PJD5255: 2.1 Kg (4.63 ポンド) PJD5555w: 2.0 Kg (4.41 ポンド)
入力端子	
パソコンへの入力	
RGB 入力	D-Sub 15-pin (メス) x 2
ビデオ信号入力	
S ビデオ	ミニ DIN 4-pin port x 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)
ビデオ	RCA ジャック x 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)
SD/HDTV 信号入力	
アナログ –	D-Sub <-> コンポーネント RCA ジャック x 3 (RGB 入力経由)
デジタル –	HDMI V1.4a x 1 (PJD5155/PJD5255/PJD5555w only)
オーディオ信号入力	PC オーディオ x 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)

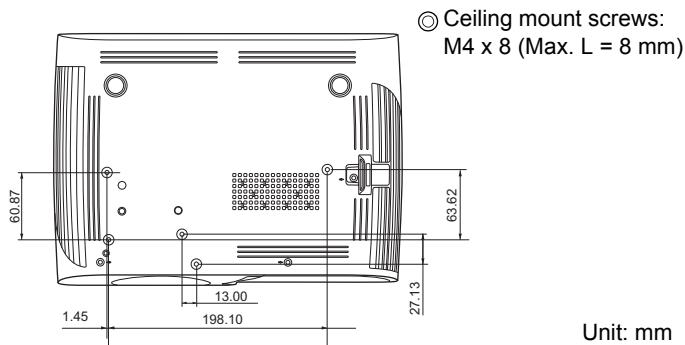
出力端子	
RGB 出力	D-Sub 15-pin (female) × 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)
オーディオ信号出力	Audio jack × 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)
スピーカー	2 watt × 1 (PJD5153/PJD5155/PJD5253/PJD5255/PJD5555w only)
制御端子	
RS-232	9 pin × 1
LAN	N/A
USB 端子	Type mini B
IR	× 1 (Front)
動作環境	
動作温度	0°C–40°C at sea level
動作湿度	10%–90% (without condensation)
高地	<ul style="list-style-type: none"> • 0–1499 m at 5°C–35°C • 1500–3000 m at 5°C–25°C (with High Altitude Mode on)

寸法

315.24 mm (W) x 97.7 mm (H) x 227.93 mm (D) (Excluding extrusions)



Ceiling mount installation



タイミング表

Analog RGB			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60/72/75/85
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75/85
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75/85
	1152 x 864	4:3	75
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60/75/85
	1360 x 768	16:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60/85
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HD	1280 x 720	16:9	60
MAC 13"	640 x 480	4:3	67
MAC 16"	832 x 624	4:3	75
MAC 19"	1024 x 768	4:3	75
MAC 21"	1152 x 870	4:3	75

HDMI			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60
SVGA	800 x 600	4:3	60
XGA	1024 x 768	4:3	60
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60
	1360 x 768	16:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50 / 60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

3D (HDMI signal included)			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
SVGA	800 x 600	4:3	60* / 120**
XGA	1024 x 768	4:3	60* / 120**
HD	1280 x 720	16:9	60* / 120**
WXGA	1280 x 800	16:9	60* / 120**
for Video Signal			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
SDTV (480i)***	720 x 480	4:3 / 16:9	60

 * 60Hz signals are supported for Side-By-Side, Top-Bottom, and Frame Sequential formats.

** 120 Hz signals are supported for Frame Sequential format only.

*** Video signal (SDTV 480i) is supported for Frame Sequential format only.

HDMI 3D			
In Frame packing format			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
In Side by side format			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
1080i	1920 x 1080	16:9	50/59.94/60
In Top and Bottom format			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60

Component video			
Signal	Resolution (dots)	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50 / 60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

Composite video		
Signal	Aspect Ratio	Refresh Rate (Hz)
NTSC	4:3	60
PAL	4:3	50
PAL60	4:3	60
SECAM	4:3	50

著作權情報

Copyright

Copyright 2014. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system or translated into any language or computer language, in any form or by any means, electronic, mechanical, magnetic, optical, chemical, manual or otherwise, without the prior written permission of ViewSonic Corporation.

Disclaimer

ViewSonic Corporation makes no representations or warranties, either expressed or implied, with respect to the contents hereof and specifically disclaims any warranties, merchantability or fitness for any particular purpose. Further, ViewSonic Corporation reserves the right to revise this publication and to make changes from time to time in the contents hereof without obligation to notify any person of such revision or changes.

*DLP and Digital Micromirror Device (DMD) are trademarks of Texas Instruments. Others are copyrights of their respective companies or organizations.

付録

IR コントロール表

Key	Format	Byte1	Byte2	Byte3	Byte4
PgDn	NEC	X3	F4	05	FA
PgUp	NEC	X3	F4	06	F9
Blank	NEC	X3	F4	07	F8
Auto sync	NEC	X3	F4	08	F7
Up	NEC	X3	F4	0B	F4
Down	NEC	X3	F4	0C	F3
Left	NEC	X3	F4	0E	F1
Right	NEC	X3	F4	0F	F0
Color Mode	NEC	X3	F4	10	EF
Mute	NEC	X3	F4	14	EB
Enter	NEC	X3	F4	15	EA
Power ON	NEC	X3	F4	17	E8
Magnify	NEC	X3	F4	32	CD
Presentation Timer	NEC	X3	F4	27	D8
Exit	NEC	X3	F4	28	D7
D. ECO (Eco mode)	NEC	X3	F4	2B	D4
Menu	NEC	X3	F4	30	CF
Mouse	NEC	X3	F4	31	CE
Mouse Left	NEC	X3	F4	36	C9
Mouse Right	NEC	X3	F4	37	C8
Source	NEC	X3	F4	40	BF
VGA (PC)	NEC	X3	F4	41	BE
Pattern	NEC	X3	F4	55	AA
My button	NEC	X3	F4	56	A9
HDMI	NEC	X3	F4	58	A7
Volume+	NEC	X3	F4	82	7D
Volume-	NEC	X3	F4	83	7C
Key pad lock	NEC	X3	F4	8E	71
RC ID	NEC	X3	F4	96	69
KeyS+	NEC	X3	F4	09	F6
KeyS-	NEC	X3	F4	0A	F5
Default (Reset)	NEC	X3	F4	98	67
Power OFF (standby)	NEC	X3	F4	16	E9
Volume	NEC	X3	F4	2E	D1
VGA1	NEC	X3	F4	41	be
VGA2	NEC	X3	F4	45	ba
Composite	NEC	X3	F4	52	ad
Help	NEC	X3	F4	21	DE

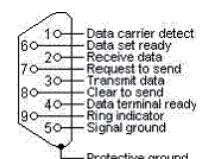
Address code

Code 1	83F4
Code 2	93F4
Code 3	A3F4
Code 4	B3F4
Code 5	C3F4
Code 6	D3F4
Code 7	E3F4
Code 8	F3F4

RS232 コマンド表

< ピン配置 >

Pin	Description	Pin	Description	
1	NC	2	RX	
3	TX	4	NC	
5	GND	6	NC	
7	RTSZ	8	CTSZ	
9	NC			



< インターフェース >

RS-232 protocol	
Baud Rate	115200 bps (default)
Data Length	8 bit
Parity Check	None
Stop Bit	1 bit
Flow Control	None

<RS232 コマンド表>

Function	Status	Action	cmd
Power	Write	Turn on	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x00 0x00 0x5D
		Turn off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x01 0x00 0x5E
	Read	Power status (on/off)	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x00 0x5E
Reset all settings	Execute		0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x02 0x00 0x5F
Reset Color Settings	Execute		0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2A 0x00 0x87
Splash Screen	Write	Splash Screen Black	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xA 0x00 0x67
		Splash Screen Blue	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xA 0x01 0x68
		Splash Screen ViewSonic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xA 0x02 0x69
		Splash Screen Screen Capture	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xA 0x03 0x6A
		Splash Screen Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xA 0x04 0x6B
	Read	Splash Screen status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0xA 0x68
Quick Power Off	Write	Quick Power Off Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xB 0x00 0x68
		Quick Power Off On	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xB 0x01 0x69
	Read	Quick Power Off status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0xB 0x69
High Altitude Mode	Write	High Altitude Mode Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xC 0x00 0x69
		High Altitude Mode On	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0xC 0x01 0x6A
	Read	High Altitude Mode status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0xC 0x6A
Lamp Mode	Write	Normal	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x00 0x6D
		Economic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x01 0x6E
		Dynamic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x02 0x6F
		Sleep Mode	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x03 0x70
	Read	Lamp Mode status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x10 0x6E

Message	Write	Message Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x00 0x84
		Message On	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x01 0x85
	Read	Message status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x27 0x85
Projector Position	Write	Front Table	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x00 0x5E
		Rear Table	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x01 0x5F
		Rear Ceiling	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x02 0x60
		Front Ceiling	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x03 0x61
	Read	projector position status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x00 0x5F
3D Sync	Write	OFF	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x00 0x7E
		Auto	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x01 0x7F
		Frame Sequential	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x02 0x80
		Frame Packing	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x03 0x81
		Top-Bottom	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x04 0x82
		Side-by-Side	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x05 0x83
	Read	3D Sync Status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x20 0x7F
3D Sync Invert	Write	Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x00 0x7F
		On	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x01 0x80
	Read	3D Sync Invert Status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x21 0x80
Contrast	Write	Contrast decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x00 0x60
		Contrast increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x01 0x61
	Read	Contrast ratio	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x02 0x61
Brightness	Write	Brightness decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x00 0x61
		Brightness increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x01 0x62
	Read	Brightness	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x03 0x62

Aspect ratio	Write	Aspect ratio Auto	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x00 0x62
		Aspect ratio 4:3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x02 0x64
		Aspect ratio 16:9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x03 0x65
		Aspect ratio 16:10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x04 0x66
		Aspect ratio Anamorphic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x05 0x67
		Aspect ratio Wide	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x06 0x68
		Aspect ratio 2.35:1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x07 0x69
		Aspect ratio Panorama	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x08 0x6A
	Read	Aspect ratio	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x04 0x63
Auto Adjust	Execute		0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x05 0x00 0x63
Horizontal position	Write	Horizontal position shift right	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x01 0x65
		Horizontal position shift left	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x00 0x64
	Read	Horizontal position	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x06 0x65
Vertical position	Write	Vertical position shift up	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x00 0x65
		Vertical position shift down	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x01 0x66
	Read	read Vertical position	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x07 0x66

Color temperature	Write	color temperature Warm	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x00 0x66
		color temperature Normal	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x01 0x67
		color temperature Neutral	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x02 0x68
		color temperature Cool	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x03 0x69
	Read	color temperature status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x08 0x67
Blank	Write	Blank on	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x01 0x68
		Blank off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x00 0x67
	Read	Blank status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x09 0x68
Keystone-Vertical	Write	Decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x00 0x68
		Increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x01 0x69
	Read	Keystone status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0A 0x69
Keystone-Horizontal	Write	Decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x31 0x00 0x8E
		Increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x31 0x01 0x8F
	Read	Keystone status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x31 0x8F
Color mode	Write	Brightest	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x00 0x69
		Movie	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x01 0x6A
		Standard	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x04 0x6D
		ViewMatch	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x05 0x6E
		Dynamic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x08 0x71
	Read	Preset mode status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0B 0x6A

Primary Color	Write	Primary color R	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x00 0x6E
		Primary color G	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x01 0x6F
		Primary color B	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x02 0x70
		Primary color C	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x03 0x71
		Primary color M	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x04 0x72
		Primary color Y	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x05 0x73
	Read	Primary color status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x10 0x6F
Hue	Write	Hue decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x00 0x6F
		Hue increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x01 0x70
	Read	Hue	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x11 0x70
Saturation	Write	Saturation decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x00 0x70
		Saturation increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x01 0x71
	Read	Saturation	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x12 0x71
Gain	Write	Gain decrease	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x00 0x71
		Gain increase	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x01 0x72
	Read	Gain	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x13 0x72
Freeze	Write	Freeze on	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x01 0x60
		Freeze off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x00 0x5F
	Read	Freeze status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x00 0x60

Source input	Write	Input source VGA	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x00 0x60
		Input source VGA2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x08 0x68
		Input source HDMI	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x03 0x63
		Input source Composite	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x05 0x65
		Input source SVIDEO	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x06 0x66
	Read	Source	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x01 0x61
Quick Auto Search	Write	Quick Auto Search on	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x01 0x62
		Quick Auto Search off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x00 0x61
	Read	Quick Auto Search status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x02 0x62
Mute	Write	Mute on	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x01 0x61
		Mute off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x00 0x60
	Read	Mute status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x00 0x61
Volume	Write	Increase Volume	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x01 0x00 0x61
		Decrease Volume	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x02 0x00 0x62
	Read	Volume	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x03 0x64

Language	Write	ENGLISH	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x00 0x61
		FRANÇAIS	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x01 0x62
		DEUTSCH	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x02 0x63
		ITALIANO	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x03 0x64
		ESPAÑOL	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x04 0x65
		РУССКИЙ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x05 0x66
		繁體中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x06 0x67
		简体中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x07 0x68
		日本語	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x08 0x69
		한국어	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x09 0x6A
		Svenska	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0a 0x6B
		Nederlands	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0b 0x6C
		Türkçe	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0c 0x6D
		Čeština	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0d 0x6E
		Português	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0e 0x6F
		ଭାରତୀୟ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0f 0x70
		Polski	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x10 0x71
		Suomi	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x11 0x72
		العربية	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x12 0x73
		Indonesian	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x13 0x74
		हिन्दी	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x14 0x75
	Read	Language	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x00 0x62
Lamp Time	Write	Reset Lamp usage hour	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x01 0x00 0x00 0x62
	Read	Lamp usage hour	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x01 0x63

HDMI Format	Write	RGB	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x00 0x85
		YUV	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x01 0x86
		Auto	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x02 0x87
	Read	HDMI Format status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x28 0x86
HDMI Range	Write	Enhanced	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x00 0x86
		Normal	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x01 0x87
		Auto	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x02 0x88
	Read	HDMI Range status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x29 0x87
CEC	Write	Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x00 0x88
		On	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x01 0x89
	Read	CEC status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x2B 0x89
Error status	Read	Read error status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x0D 0x66
Brilliant Color	Write	Brilliant Color 0	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x00 0x6D
		Brilliant Color 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x01 0x6E
		Brilliant Color 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x02 0x6F
		Brilliant Color 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x03 0x70
		Brilliant Color 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x04 0x71
		Brilliant Color 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x05 0x72
		Brilliant Color 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x06 0x73
		Brilliant Color 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x07 0x74
		Brilliant Color 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x08 0x75
		Brilliant Color 9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0x09 0x76
		Brilliant Color 10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0xF 0xA 0x77
	Read	Brilliant Color status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0xF 0x6E

Remote Control code	Write	code 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x00 0xA0
		code 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x01 0xA1
		code 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x02 0xA2
		code 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x03 0xA3
		code 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x04 0xA4
		code 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x05 0xA5
		code 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x06 0xA6
		code 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x07 0xA7
	Read	Remote Control code status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x048 0xA1
Screen Color	Write	Screen color Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x00 0x8F
		Blackboard	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x01 0x90
		Greenboard	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x02 0x91
		Whiteboard	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x03 0x92
	Read	Screen Color status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x32 0x90
Over Scan	Write	Overscan Off	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x00 0x90
		Overscan 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x01 0x91
		Overscan 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x02 0x92
		Overscan 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x03 0x93
		Overscan 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x04 0x94
		Overscan 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x05 0x95
	Read	Overscan status	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x33 0x91

Remote Key	Write	Menu	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0F 0x61
		Exit	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x13 0x65
		Up	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0B 0x5D
		Down	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0C 0x5E
		Left	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0D 0x5F
		Right	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0E 0x60
		Source	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x04 0x56
		Enter	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x15 0x67
		Auto	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x08 0x5A
		My Button	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x11 0x63

カスタマーサポート

技術サポートまたは製品サービスについては、下表を参照するか販売店にお問い合わせください。

注意：製品のシリアル番号が必要となります。

国/地域	ウェブサイト	電話	電子メール
オーストラリア／ニュージーランド	www.viewsonic.com.au	AUS= 1800 880 818 NZ= 0800 008 822	service@au.viewsonic.com
香港	www.hk.viewsonic.com	T= 852 3102 2900	service@hk.viewsonic.com
台湾	www.viewsonic.com.tw	T= 886 2 2246 3456 F= 886 2 2249 1751 Toll Free= 0800 061 198	service@tw.viewsonic.com
韓国	ap.viewsonic.com/kr/	T= 080 333 2131	service@kr.viewsonic.com
日本	www.viewsonicjapan.co.jp	0120 341 329	service@jp.viewsonic.com
マカオ	www.hk.viewsonic.com	T= 853 2870 0303	service@hk.viewsonic.com
中東	ap.viewsonic.com/me/	Contact your reseller	service@ap.viewsonic.com
インド	www.in.viewsonic.com	T= 1800 266 0101	service@in.viewsonic.com
シンガポール／マレーシア／タイ	www.ap.viewsonic.com	T= 65 6461 6044	service@sg.viewsonic.com

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証の範囲：

ViewSonic は、保証期間内において、当社製品がその正常な使用下で材質及び製造に欠陥がないことを保証します。保障期間内に製品の材質または製造に欠陥が認められた場合、ViewSonic は当社単独の選択で当該製品の修理または同等製品との交換を行います。代替製品または部品は、再生または修復された部品または部材を含んでいることがあります。

限定 3 年間一般保証：

以下に定めるより限定された 1 年間保証に従属します、北米および南米: ランプを除くすべての部品に対する 3 年間保証、3 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消費者の購入日から 500 時間又は六ヶ月間の保証。

その他の地域または国: 保証情報については、お近くの販売店または現地の ViewSonic 事務所に確認してください。

限定 1 年間高頻度使用保証：

一日平均使用時間が 14 時間を超える高使用頻度設定下、北米および南米: ランプを除くすべての部品に対する 1 年間保証、1 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消费者的購入日から 90 日間の保証。

欧洲: ランプを除くすべての部品に対する 1 年間保証、1 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消费者的購入日から 90 日間の保証。

その他の地域または国: 保証情報については、お近くの販売店または現地の ViewSonic 事務所に確認してください。

ランプの保証は、利用条件、検証および承認に従属します。製造者の設置したランプにのみ適用されます。別途購入したすべての付属品ランプは、90 日間保証されます。

保証の対象者：

この保証は最初に製品をお買い上げになった消費者の方のみを対象にしています。

次の場合、この保証の対象外となります：

1. シリアル番号が損傷、修正または取り除かれた製品。
2. 次を原因とする損傷、破損または故障：
 - a. 事故、誤用、不適切な取り扱い、火災、水害、落雷、その他天災地変、許可のない製品の改造成、または製品の取扱説明書を逸脱して使用した場合。
 - b. 製品の仕様外の操作。
 - c. 通常の意図された使用、または、通常の条件下ではない製品の操作。
 - d. ViewSonic から権限を付与されていない人物による修理または修理の試み。
 - e. 輸送による製品の損害。
 - f. 製品の取り外しまたは設置。
 - g. 異常電圧や停電など、製品外部の原因。
 - h. ViewSonic の仕様に合わない消耗品や部品の使用。
 - i. 正常損耗。
 - j. 製品の欠陥に無関係のその他原因。
3. 取り外し、取り付け、一方向の輸送、保険およびサービス料のセットアップ。

サービスを受けるには：

1. 保証に基づきサービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサポートにお問い合わせください（カスタマーサポートページを参照）。その際製品のシリアル番号を示す必要があります。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 日付入りの保証書原本、(b) お名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号の提示が求められます。
3. 製品を元の箱に梱包し、ViewSonic の認定サービスセンターまたは ViewSonic に持ち込みまたはご送付ください。
4. より詳しい説明は ViewSonic カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

默示保証の制限：

特定目的に対する適合性の默示保証を含め、明示的または默示的を問わず、ここで説明される内容を超えたいかなる保証もありません。

損害の除外：

ViewSonic の賠償責任は製品の修理または代替の費用に限定されます。ViewSonic は次に対し賠償の責を負いません：

1. 当社がそのような損失の可能性について報告を受けていたとしても、本製品の欠陥により発生した他の財産に対する損害、不便さ、本製品の使用不能、時間的損失、利益の損失、商業的機会の損失、商業的信用の損失、取引関係への干渉、またはその他商業的損失に基づく損害。
2. 二次的、間接的またはその他を問わず、その他あらゆる損害。
3. 第三者によるお客様に対するあらゆる要求。
4. ViewSonic から権限を付与されていない人物による修理または修理の試み。

州法の効力：

本保証はお客様に特定の法律上の権利を付与します。お客様はまた州によって異なるその他権利を有します。州によっては、默示的保証の制限及び/または二次的或いは間接的損害の除外を認めない場合があります。このため、上記の制限及び除外がお客様に適用されない場合があります。

米国及びカナダ以外での販売：

米国及びカナダ以外で販売された ViewSonic 製品に対する保証情報とサービスについては、ViewSonic またはお住まいの地域の ViewSonic 販売店にお問い合わせください。

中国（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品に対する保証期間は、メンテナンス保証書に記載の条件の対象となります。

ヨーロッパとロシアのユーザーの場合、提供される保証の完全な詳細は www.viewsoniceurope.com で Support/Warranty Information (サポート / 保証情報) を参照してください。

